

調査名

孔番・深度

H07B-2 (140 ~ 145)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 140 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	140.04				△	▽	△	○	3			
	05											
	141									○	5	
	05				✓	✓	✓	✓	2			
	142		GW	25% 4/1 褐灰						○	5	
	05											
	142.91				x	x	x	x		○	4	
	05											
	143											
	05				✓	✓	✓	✓	2			
	144									○	7	
	05											
	144.90				x	x	x	x		✓	6	
	145											

・140.04~140.65" 16" 厚210cm 程度の砂質粘土状部は分厚(20cm) 割れ目の厚21.5%程度にφ1.3% 12砂粒の片状化が割れ目と多量を含む。割れ目は巻層度の低い「中層割れ目」の傾向が認められる。粘土と砂の割合は約40%。

・141.10~141.12" 40" 割れ目の砂質化。φ6~10% 硬質粘土(硬土)も多少含まれる。

・141.96~142.23" 互いに180° 垂直の60° 角と30° 角の割れ目の細小な交差。φ5~10% 3層の細片状化(2層) 割れ目の厚2%と硬質土一部厚1.2%程度に砂質化粘土と砂を含む。

・142.91~144.90" 割れ目の開口上下位は2cm 程度に300~巻層度の低い割れ目中層割れ目と多量を含む。

・143.57"~143.70m. 上端60°, 下端70° 割れ目の緑泥石化層。緑泥色呈示。粘土化は粘土と砂の割合はφ2.7% 以下は粘土粘土黄緑泥土。60° 厚1.5~10% 石英と粘土は1層。

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (145 ~ 150)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 145 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					
	05	145.65		7.5YR 8/1 褐色	✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	2		✓ 0	3	CK	
146	05				x	x					✓ 0	3		145.65 ~ 146.26 m: D 大半が割れ目による風化の塊状。粘土の塊は 45~20% の残留物を含む。破砕性 ~ 碎屑状を呈す。一部は少量の白色 ~ 暗緑灰色粘土の脈状に分布。
	05				5Y	✓ v	✓ E	✓ δ	3		✓ 0	2	D	145.74 ~ 146.00 m, 146.91 ~ 147.50 m は硬質「D」主体。147.91 ~ 148.01 m は硬質「C」主体。半量に分布。
147	05		Gp	7.5YR 7/2 明褐色							✓ 0	2		146.65 ~ 146.91 m: 深度と共に残留物含量が増加。146.91 ~ 107.50 m は硬質「D」主体。硬質「D」の塊状の連続部を含む。
	05	147.81			x	x	x	x			✓ 0	4		147.65 m: 55° 割れ目に厚さ 1 ~ 2 cm の暗緑灰色線状の塊 122 枚。粘土の塊状化 (20%)。
148	05	148.01			6Y	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	4		147.81 ~ 148.01 m: 硬質「C」と硬質「D」の層。割れ目は多量に分布する。
	05	148.26			d	✓ v	✓ E	✓ δ	3					148.26 ~ 148.19 m: C 上部 50% 下部 50% の層。120° 同方向に割れ目 2 箇所。
	05				✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	2				CK	148.65 m: 50% 厚さ 3 cm の暗緑灰色粘土の塊状の線状の塊 122 枚。同様に粘土 (20%) の塊状化を呈す。
149	05	149.19			x	x	x	x			✓ 0	6		148.84 m: 以て、割れ目に厚さ 2 cm の粘土化部が分布。
	05	149.67			6Y	✓ v	✓ E	✓ δ	2				D	149.19 ~ 149.67 m: D 割れ目による風化の塊状。粘土の塊は 10% 前後の硬質「D」の塊状。破砕性 2 呈す。粘土は 20% 程度。白色粘土も含まれる。
	05				x	x	x	x			✓ 0	5	CK	下部の 149.67 ~ 149.40 m は 40% 暗緑灰色粘土の塊状 ~ 粘土の塊状の線状の塊 122 枚。
150	05	150.00		7.5YR 8/1 褐色	8Y	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	5		149.67 ~ 150.22 m: C 硬質「C」と「D」の層が分布。
														149.67 ~ 150.22 m: 硬質「C」と「D」の層が分布。

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (150 ~ 155)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
0	150.00			2.5YR 6/1 褐炭	✓	✓	✓	✓	2			<p>150.20 ~ 150.52 m. 上下より変質した石質土「D」に転化した。下部の150.52 m 以下は幅1~2%の片状の緑泥石層。緑泥石変質は終了。</p> <p>150.52 ~ 152.10 m 硬土で、一部で割れ目により風化が弱い。割れ目部分で粘土の含有が低い。</p> <p>150.52 m 以降は粘土中の1~3%の暗緑色斑點が点在し、割れ目の面を緑泥石化する。緑泥石化の範囲は粘土化部の石化は低い。</p> <p>151.40 ~ 151.60 m 割れ目の部等、10%程度の片状の石化に転じ、割れ目の面には粘土の付着がある。</p>
0.5	150.32			2.5YR 7/2 明褐炭	✓	✓	✓	✓	3			
151	152.10			2.5YR 6/1 褐炭	✓	✓	✓	✓	2	C _L		
0.5	152.52											
152	152.10		GP		✓	✓	✓	✓	4		<p>152.10 ~ 152.15 m: 硬質帯 (主断面152.11 m)</p> <p>152.10 ~ 152.11 m: H_J 上端68°で直線的に連続、主断面と垂直に割れ目が多く、10~20%程度の片状の石化。色調は不均質 (5YR 7/2) 厚さ15cm</p> <p>152.11 m: H_{C-2} 68°で上端と直線的に連続、1~2%の暗緑色斑點と約20%程度の粘土質粘土 (4YR 7/2) 厚さ1cm 暗緑色。</p> <p>152.11 ~ 152.15 m: H_J 上端68°で直線的に、下端55°で非直線的に連続、1~5%の片状石化 (一部10%)。割れ目は石化に粘着した粘土層と「新成」を呈す。色調は緑色 (10GY 5/1) ~ 明褐色 (2.5YR 7/2) 厚さ20~50cm</p>	
0.5	152.51				✓	✓	✓	✓	2	C _L		
153	152.10			2.5YR 7/2 明褐炭	✓	✓	✓	✓	7			
0.5	153.59			2.5GY 4/1 暗緑炭	✓	✓	✓	✓			<p>152.15 ~ 153.59 m: C_L 風化の程度は「硬土」で、割れ目が多く、152.51 m 以降は主に垂直に割れ目と10~20%程度の片状の石化を呈す。 割れ目の一部は1~5%程度の粘土層と石化。153.30 ~ 153.59 m 緑泥石の部は一部が割れ目と粘土層の暗緑色化部。</p> <p>153.59 ~ 154.53 m: D 風化の割れ目により石化の増大、粘土中の割れ目が錯綜する。154.00 m 以降は3~5%の片状石化と粘土質粘土層の付着が認められる。154.00 m 以降は割れ目が多い。</p> <p>152.60 ~ 153.76 m は緑泥石化の範囲が粘土化に伴って粘土質の付着が認められる。1%の粘土層が認められる。</p>	
154	154.53			2.5YR 7/2 明褐炭	✓	✓	✓	✓	4			
0.5	154.21				✓	✓	✓	✓	3			
155	155.00				✓	✓	✓	✓	1		<p>154.53 ~ 154.71 m: 硬質帯 (主断面154.59 m)</p> <p>154.53 ~ 154.58 m: H_B 上端68°、下端55°の直線的に連続、1~3%の暗緑色斑點、1~10%の粘土と硬土の層で20~30%の粘土質粘土層を呈す。割れ目は粘土質粘土層に粘着。色調は上部が暗褐色 (5Y 7/2) 中央が暗褐色 (5Y 7/2)、下部が暗褐色 (5Y 7/2) の暗褐色。厚さ40~50cm</p>	

調査名

孔番・深度

H27B-2 (155 ~ 160)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
155	155.00											
0.5				7.5YR 2/2 明褐色								
156	156.00				√c	√v	√d	√γ	3	√0	√5	
0.5												
157			Gp	7.5YR 6/2 灰褐色						√0	√2	Ck
0.5	157.61				x	x	x	x				
	157.89									√0	√4	
158												
0.5				10GY 5/1 緑灰	√c	√v	√d	√γ	3			
159										√0	√3	
0.5	159.74				√c	√v	√d	√γ	3			
160	160.00				√c	√v	√d	√γ	3	√0	√5	

154.50 m : Hc-1
36° 上部は連続的、下部は連続的の連続。φ1~20% 石英粒と粘土(粘土)を含む粘泥岩(砂岩)。色調は上下端別
6° 褐色(7.5YR 6/2)、中央部(10YR 6/2)の褐色(砂岩)。
厚さ 5cm。

154.50 ~ 154.71 m : Hj
上部は36° 連続的、下部は64~70° 薄層(砂岩)の連続。50~70°
とくに粘泥岩の割合が多し、粘土50% 以上細く片状化。粘泥岩
10% 厚さ 3cm の明褐色~ 緑灰色の粘泥岩と粘土(砂岩)の砂岩の
10% 厚さ 1cm の粘泥岩と粘土(砂岩)の砂岩。全体として粘土
10% 粘泥岩(10GY 7/1)と粘土(砂岩)の砂岩(7.5YR 7/2)~
明褐色(10GY 7/1)厚さ 5cm

154.71 ~ 155.00 m : D
粘泥岩(砂岩) 粘泥岩(砂岩)
155.00 ~ 162.00 m (砂岩) : Ck

剖面は暗緑灰色の粘泥岩と砂岩の連続。
特に、157.89 ~ 160.00 m は粘泥岩と砂岩(色調は
緑灰色)と、厚さ 2~20% の砂岩と粘泥岩の部分で
砂岩。

156.25 ~ 156.80 厚さ 5~10% の粘泥岩と砂岩の
粘泥岩と砂岩の砂岩と粘泥岩の部分

156.72 ~ 157.80 厚さ 10% の粘泥岩と砂岩の
粘泥岩と砂岩の部分に連続的。
下部は158.24 m まで、下部には粘泥岩と砂岩の部分
と砂岩。

158.00 ~ 158.20 m φ5~10% 粘泥岩と砂岩の部分と粘泥岩
の部分の粘泥岩と砂岩の部分。

159.06 ~ 159.33 m 剖面は暗緑灰色の粘泥岩と砂岩の
粘泥岩と砂岩の厚さ 2~20% の粘泥岩と砂岩の
粘泥岩と砂岩の部分と粘泥岩と砂岩の部分、
粘泥岩と砂岩の部分と粘泥岩と砂岩の部分。

159.78 m 10.00 厚さ 10% の粘泥岩と砂岩の粘泥岩と砂岩
の部分。

調査名		孔番・深度		観察日									
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化	変質
	160.12			16a00							160.00~161.68m 緑泥石化は的、割れ目、一部の割れ目の緑泥石化の程度は割れ目の細さによって異なる。 ・160.81m、70cm厚の5%白色鉱物(方解石)の分布、初上部と下部の厚さ1~3cm程度の緑泥石化した緑泥石を伴う。 ・160.98~161.01mは5~30%の割合に碎けた緑泥石化した各層の一部分は割れ目の細さの程度によって異なる。 ・161.68m以下は割れ目等に暗緑色の緑泥石化、割れ目に緑泥石の粘土が充填しているものが多い。全体の5~30%と細かく砕けたもの、各層の硬さ10cmと硬さ10cmの主要な。		
0.5	160.50			7.5YR 5/4 1120m 橙	<	√	0	3					
161	160.75		Gp		<	√	<	Y	3	0		3	C _L
0.5	161.68			109Y 5/1 緑灰	c	√	B	Y	3				
162										0	4		(X底)

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27 B-3					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカー	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				火山灰物 炭質土 貝化石 木片			
0			0.00	0~0.35 砂質土 (f.32)		10YR 3/4 黒褐	0~1.70m: 埋産土 掘削にともなう、地下埋設物等との 手摺りの試験体等、その埋産土、
	0.35		0.35			10YR 6/4 灰褐	0~0.35m 砂石 0.35~1.70m 浮浪砂~礫質砂
	1.00		1.00		埋産土	10YR 9/2 灰黄褐	1.70~1.70m: 礫 構造物量産の盛土部 小礫、粗礫、粗砂~粗砂~砂礫、砂礫
	0.5		1.70				1.70~2.27m: 砂
	2				盛土	10YR 6/4 灰褐	2.4~2.8m 間の水平掘削明り、掘削の転写、 収縮等
	0.5						3.00m 以降は粗粒砂が主体である。 3.61~3.67m 間の表面が黒色化した石英粒の 滲集がある。
	3						
	0.5						
4			3.61~3.67 m 間の砂 粒				

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ◐ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭—— 不明瞭----- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番	427 B-3	観察日		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ マーカー ○ 灰物 ▽ 山礫 □ 化石 ■ 炭土 ▲ 貝片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
4						
0.5						
5						
0.5	5.27			盛	10YR 6/4 R3.5 黄褐	5.27~5.60m: 砂礫
0.5	5.60			土		5.60~7.07m: 砂 中粒砂主体の塊状 砂礫の堆積構造は弱く、 2~3% 石英粒(少量)を含む。 0.5m 以内は粗粒。
6						
0.5						
7	7.07					7.07~8.01m: 砂礫
0.5						
8						
0.5						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		427 B-3				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			火山灰物 土壌化石 貝片 木片			
P	0.01	0.01	○ r /// □			
0.37	0.37	0.37	2.59 Y 5% 相→灰	土	MR 1/4 R/M 砂層	0.01 ~ 0.37 m : 砂
0.65	0.65	0.65	MR 1/2 R/M 砂層			0.37 ~ 0.65 m : 砂
0.92	0.92	0.92				0.65 ~ 0.92 m : 腐食した砂層に含有する (-) 砂相骨材 (塊含む)
1.05	1.05	1.05				0.92 ~ 1.05 m : 砂層 (含む)
1.2	1.2	1.2				(着目)

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等
 境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 B-3 (10.05 ~ 15)									
標尺 10 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等 (巻註) 「和歌山地質カード」参照
				色調	割れ目状態	コアの硬さ	風化				
	10.05										<p>11~3% 石英、長石で斑状と珪石斑状岩 (Gp).</p> <p>長石は白濁化が少なく。</p> <p>10.05 ~ 12.96 m: CL</p> <p>・硬「C」主伴で 上部側の 10.05 ~ 11.20 m と中部の 11.82 ~ 12.00 m は月化が強い硬「D」で。</p> <p>・硬「C」E部の一部で割れ目状の物を含む部分あり。多くは月化に伴って変質粘土と脈状に侵入して。</p> <p>・長石は多くの白濁化している。</p> <p>・10.70 ~ 10.80 m は硬「C」の硬質層が残留する。</p>
	05										<p>11.20 ~ 11.82 m 硬「C」主伴で 珪石が少なく、一部は容易度の低い割れ目を含む。</p> <p>11.40 ~ 11.85 m 割れ目状の物、主伴の硬「C」が伴っている。</p>
	11										
	05										
	12										
	05										
	13										
	05										
	14										
	05										
	15										

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

(巻註) 「和歌山地質カード」参照

11~3% 石英、長石で斑状と珪石斑状岩 (Gp).
長石は白濁化が少なく。

10.05 ~ 12.96 m: CL

・硬「C」主伴で 上部側の 10.05 ~ 11.20 m と中部の 11.82 ~ 12.00 m は月化が強い硬「D」で。

・硬「C」E部の一部で割れ目状の物を含む部分あり。多くは月化に伴って変質粘土と脈状に侵入して。

・長石は多くの白濁化している。

・10.70 ~ 10.80 m は硬「C」の硬質層が残留する。

11.20 ~ 11.82 m 硬「C」主伴で 珪石が少なく、一部は容易度の低い割れ目を含む。

11.40 ~ 11.85 m 割れ目状の物、主伴の硬「C」が伴っている。

11.82 ~ 12.00 m 上下位置が軽微で、下部の 11.97 ~ 12.00 m は粘土化が強い。

12.00 ~ 12.96 m 硬「C」主伴で割れ目状の物、珪石と珪石の交代が少なく、珪石が割れ目状の軽微に交代して、珪石が下部の一部分は黒濁化している。

12.96 ~ 14.62 m: D, CL

上部側と下部側は D 級、中部は CL 級の中間に相当する。

下部硬「E」で硬「D」岩組織で割れ目状の物(珪石)が全体の珪石が交代して、珪石と珪石の交代が 5% 前後の珪石交代は 10~3% の交代に含められる。

13.64 ~ 14.30 m は硬「C」主伴で 20~30% の容易層の低い割れ目状の物は 1~2 cm の隙間を含む。

14.22 m 43° 傾斜の容易層状の珪石と珪石の交代(珪石)と珪石の交代(珪石) (珪石 7%、珪石 2%)

14.30 ~ 14.62 m は上部側 17° 傾斜の容易層状の珪石と珪石の交代(珪石)と珪石の交代(珪石) (珪石 7%、珪石 2%)

下部側割れ目状の物(珪石)と珪石の交代(珪石)と珪石の交代(珪石) (珪石 7%、珪石 2%)

4.2 m 傾斜の容易層状の珪石と珪石の交代(珪石)と珪石の交代(珪石) (珪石 7%、珪石 2%)

14.62 ~ 20.04 m: CL

20~40% 割れ目主伴で、割れ目状の物(珪石)と珪石の交代(珪石) (珪石 7%、珪石 2%)

Gp
7.5FR
7/2
明礬灰

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 15 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	0.5	15.32 15.43			✓	✓	D	δ	2			
					2	✓	E	ε	3			
	16			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	D	δ	2	✓ ₁₀	✓ ₁₀	
	0.5	16.49			X	X	X	X	2			
	17	17.15 17.31 17.31 17.50	Gp		✓	✓	C	δ	2	✓ ₁₀	✓ ₇	
	0.5	17.50			X	X	X	X	2			
	18	18.04		2.5YR 7/3 10YR 橙	✓	✓	C	δ	2	✓ ₁₀	✓ ₈	
	0.5	18.43			X	X	X	X	2			
	19			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	C	δ	2	✓ ₁₀	✓ ₅	
	0.5				X	X	X	X	2			
	20				✓	✓	C	δ	2	✓ ₁₀	✓ ₉	

・上端側の16.49m以下は硬2C 主体、16.49m以下は硬2C 主体である。

・15.35~15.43m、風化に起因した粘水浸食による粘化と酸化が認められ、上部は30°前後の割れ目がある。

・15.75~15.80m、60°割れ目の縁、20°の鉛筆状の。

・16.21m、50°割れ目の幅5~15mm 中国結核 白色結核 認められる。

・16.49m、35°割れ目の下位は硬2C 主体、一部は粘着性の強い割れ目を含んでいる。

・16.76~16.87m 中10~20%の粘着性 認められ、粘着性は10~20%程度の砂状化

・17.15~17.31m、割れ目の一部は幅1~2mmの粘着性結核を認める

・17.90~18.00m 粘着性の強い風化割れ目を含む、10~15°の粘着性、40°割れ目の一部は粘着性、粘着性認められる。粘着性認められる、同じく認められる。

・18.05~18.27m 粘化浸食に石炭量多、粘着性認められる。

・18.43~20.04m 一部の割れ目は粘着性、20°の粘着性認められる、粘着性認められる、粘着性認められる。

・18.90m、50°割れ目の幅1~5mm 粘着性の認められる。

・19.49m、40°と60°割れ目の交差、60°割れ目と40°割れ目と認められる。

・60°割れ目と15.55mの幅10%の砂状化による下位は10~15°の粘着性認められる、粘着性認められる、粘着性認められる。

調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 B-3 (20 ~ 25)									
標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
05	20.04 20.15			2.5FR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	δ	×	CM	20.04 ~ 20.93 m : CM 一部は密着度。他は割れ目：密着、岩片は堅硬。 長石の一部は白濁が、未変質の粘板岩の多量。 割れ目存在物は地中に分布する。
05	20.93 21.27			2.5FR 7/3 10.5% 粘	✓	✓	✓	δ	×	CM	20.93 ~ 22.70 m : C2 45°前後の割れ目主体、一部は70-90°の高角度割れ目と 変質。 割れ目に沿って粘板岩化が、部分の粘板岩化の粘板岩が 一部で分布。 粘板岩の幅1-2% 粘質白色粘板岩に代わる。 上端部の22.69 m 粘板岩は硬く、22.69 ~ 23.07 m は 硬く、23.07 m 以下は硬く、粘板岩、硬く、粘板岩 主体の粘板岩 割れ目の存在物に分布するものが多い。
22	22.69		Gp	2.5FR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	δ	0	3	21.55 ~ 21.65 m 粘板岩の粘板岩と硬く、粘板岩と粘板岩 の粘板岩に多い。粘板岩に代わる。
05	22.69				✓	✓	✓	δ	0	3	21.70 ~ 22.40 m 高角度割れ目主体、厚さ1%以下と粘 板岩20% 粘板岩の幅1-3%の粘質白色粘板岩に分布。 22.03 ~ 22.63 m 70-90°の粘板岩(粘板岩) 割れ目 の幅5-10% 粘板岩の幅1-2%の粘質粘板岩に代わる。 22.10 ~ 22.45 m 一部は硬く、粘板岩に代わる。 22.50 ~ 22.64 m 上端60°の幅2-3%粘板岩、下端45° 幅1%粘板岩の粘板岩に代わる、一部は粘板岩の 粘板岩に代わる。
23	23.71				✓	✓	✓	δ	0	5	22.91 ~ 23.49 m 45°前後の割れ目と同方向に分布、粘 板岩に垂直な60°前後の粘板岩の割れ目と同方向に分布。 23.45 ~ 23.71 m 粘板岩の幅1-3% 粘質白色粘板岩に代わる、粘 板岩の分布。
05	23.71				✓	✓	✓	δ	0	5	23.71 ~ 24.53 m 粘板岩(硬く、粘板岩) 主体。 23.71 ~ 23.95 m 80-90°の高角度割れ目と粘板岩の粘板岩に 代わる。
24	24.53				✓	✓	✓	δ	0	6	24.06 ~ 24.22 m は粘板岩(硬く、粘板岩) 主体。 24.37 m 45°前後の粘板岩
05	24.53				✓	✓	✓	δ	0	6	24.53 ~ 26.70 m 粘板岩(硬く、粘板岩) 主体。 上端24.53 m 粘板岩の粘板岩の粘板岩の粘板岩に 代わる。 24.60 ~ 24.92 m 80-90°の粘板岩の粘板岩の粘板岩に 代わる。
25					✓	✓	✓	δ	10	10	

調査名: [redacted] 孔番・深度: H-7 B-3 (25 ~ 30) 観察日: [redacted]

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
25	25.00		Gp	2.5YR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	✓	2	18 19	C ₂ ✓	<p>25.00 ~ 25.80 m: 8.5 ~ 9.0' 割れ目は厚さ 1 ~ 2% の一部は砂 → 破砕帯・黒褐色化 1.0 ~ 1.2 m</p> <p>一部は 月化による軟化(注2)の部分も認められる。</p> <p>25.80 m 以下は割れ目が多くなる。 割れ目はほぼ均等に分布する。</p> <p>26.20 m: 6.0' 割れ目は厚さ約 10 mm 程度で割れ目約 0.2 m (左2.5%)</p>	
	25.60	×			×	×	×	4	Hc-1 Hb				
	26.20	×			✓	✓	Y						2
26	26.20		Gp	2.5YR 1/2 FR白	✓	✓	✓	✓	4	6 8	D ✓	<p>26.20 ~ 26.90 m: 破砕帯 (主軸断面 26.70 m)</p> <p>26.70 m: Hc-1</p> <p>43° ± 上下端で連続的に連続。石英粒、粘土を含む粘質 粘土(6.5%)。色調は淡黄(2.5YR 7.5)。厚さ 10 mm 以下</p> <p>26.90 ~ 27.00 m: Hb</p> <p>上端 43° ± 連続的に。下端 54° ± の連続で連続。約 2 ~ 3% 石英粒 4.5 ~ 10% 粘土(注2) 厚さ 20 ~ 30% 粘土質粘質粘土状 連続。上端は厚さ 1.2% の粘土粒。 色調は灰白(2.5YR 7.5 ~ 2.5YR 7.5)。厚さ 1.60 ~ 1.80 m</p>	
	26.90	×			×	×	×	3	C ₂ ✓				
	27.00	×			✓	✓	✓						0
27	27.00		Gp	2.5YR 1/2 FR白	✓	✓	✓	✓	4	10 5	D ✓ Hc-1 Hj	<p>27.00 ~ 27.57 m: D</p> <p>27.00 m 以下は石英粒、27.00 m 以下は石英粒と粘質粘土 27.00 m 以下の粘質粘土質と粘質粘土質と粘質粘土質 27.57 ~ 28.12 m: C₂</p> <p>粘質粘土質と粘質粘土質。全体の石英粒と石英粒は 割れ目による粘質粘土と粘質粘土と粘質粘土</p>	
	27.57	×			×	×	×	4	Hc-1 Hj				
	28.12	×			✓	✓	✓						2
28	28.12		Gp	7.5YR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	✓	4	10 5	D ✓ Hc-1 Hj	<p>28.12 ~ 28.14 m: 破砕帯 (主軸断面 28.12 m)</p> <p>28.12 m: Hc-1</p> <p>43° ± 上下端で連続的に連続。4.1% 石英粒と粘質粘土(5%以下) 含む粘質粘土(6.5%)。色調は淡黄(2.5YR 7.5)。厚さ 1 ~ 3 mm</p> <p>28.14 ~ 28.14 m: Hj</p> <p>上端 43° ± 連続的に。下端 45 ~ 55° の連続で連続。粘質粘土 石英粒の割合は約 3 ~ 5% 粘質粘土、粘質粘土質 粘土状、呈する。色調は淡黄(2.5YR 7.5)。厚さ 1 ~ 3 mm</p>	
	28.14	×			×	×	×	3	C ₂ ✓				
	28.85	×			✓	✓	✓						0
29	28.85		Gp	2.5YR 1/2 FR白	✓	✓	✓	✓	4	10 5	D ✓ Hc-1 Hj	<p>28.85 ~ 29.10 m: C₂</p> <p>粘質粘土質と粘質粘土質。下部は石英粒と粘質粘土と粘質粘土 割れ目による粘質粘土と粘質粘土と粘質粘土 40 ~ 60° で分布する。</p>	
	29.10	×			×	×	×	3	C ₂ ✓				
	29.12	×			✓	✓	✓						0
30	29.10		Gp	2.5YR 1/2 FR白	✓	✓	✓	✓	4	10 5	D ✓ Hc-1 Hj	<p>29.10 ~ 29.12 m: 破砕帯 (主軸断面 29.10 m)</p> <p>29.10 ~ 29.11 m: Hc-1</p> <p>上端 49° ± 連続的に。下端 50° ± の連続で連続。4.1% 石英粒 と粘質粘土(5%以下) 含む粘質粘土(6.5%)。色調は淡黄(2.5YR 7.5)。</p> <p>色調は、上端側: 灰白(10YR 7.5)、中央: 淡黄(2.5YR 7.5) 下端側: 2.5YR 7.5) の粘質粘土質。厚さ 5 ~ 10 mm</p> <p>29.11 ~ 29.12 m: Hb</p> <p>上端 50° ± 連続的に。下部は石英粒と粘質粘土と粘質粘土 3 ~ 5% 粘質粘土(注2) の粘質粘土(注2) の粘質粘土質 粘質粘土。色調は淡黄(2.5YR 7.5)。厚さ 9 ~ 11 mm</p>	
	29.11	×			×	×	×	3	C ₂ ✓				
	29.12	×			✓	✓	✓						0
30.00			Gp		✓	✓	✓	4	10 5	D ✓ Hc-1 Hj	<p>29.12 ~ 30.00 m: C₂</p> <p>10.02 m 以下は石英粒と粘質粘土と粘質粘土と粘質粘土</p>		

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (30 ~ 35)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
0	30.02			7.5YR 2/2 明褐色	✓ a	✓ IV	✓ c	✓ γ	2			
0.5	30.45 30.56											
31										36	26	
0.5					✓ b	✓ III	✓ B	✓ β	2			C _H
32	32.21		Gp	7.5YR 6/2 1M10	✓ x					40	17	
0.5					✓ b	✓ IV	✓ c	✓ γ	2			C _M
33	33.09									10	10	
0.5					✓ c	✓ V	✓ o	✓ δ	2			C _L
34	34.20									0	5	
0.5					✓ b	✓ IV	✓ c	✓ γ	2			C _M
35										0	9	

30.55m 地層の割れ目とコアの風化部分がある。
 毎層の底の割れ目、中層割れ目が多い
 30.55~30.60m
 30.30~30.56m 割れ目とコアの一部が軽微なマロン
 鉄染を受ける

30.56~32.21m: C_H
 堅硬 割れ目狭径地は一部に厚さ5mm(音)
 割れ目とコアの一部は軽微なマロン 鉄染を受ける
 劣化は伴わない。
 27cmは毎層の底の割れ目中に割れ目10個ほど分布する

31.30m 付近は割れ目が変異し 超粒状(1055cm前後)に
 変わった。

31.62~31.66m 上下端の割れ目に固形鉄染化が
 上下端には幅2mm、0.5%の鉄質褐色鉄脈脈理が
 分布する。

32.11m、40' 割れ目は厚さ15~20mm 鉄染化し、色
 調が暗緑褐色化する。0.5%以下の鉄質褐色鉄脈脈
 理が伴う。劣化は伴わない。

32.21~33.09m: C_M
 -一部に鉄染物と鉄石の割れ目の主体。
 毎層の底の割れ目とコアの一部は開口化した。

33.30~33.53m 割れ目とコアの一部がマロン鉄染
 を受ける劣化は伴わない。
 32.53m、450 厚2%鉄質褐色鉄脈脈理。この下盤には鉄土
 135 超粒状割れ目が分布する。

33.09~34.20m: C_L
 60-70%の高層割れ目が多い。一部は分岐~4cmほど
 延び、この割れ目はマロン鉄染下 幅1~2mmの鉄質
 褐色鉄土脈理に付随する。鉄脈脈理の劣化
 が認められる。

33.70' 深部で硬土の割れ目が含まれている。

34.20m、40' 割れ目は厚さ2~3mm、比較的鉄質褐色鉄脈脈理が
 分布する。

34.20~35.94m: C_M
 34.40' 割れ目に鉄染物と鉄石の割れ目の主体。劣化は伴わない。超
 粒状マロン鉄染を受ける。劣化は伴わない。
 毎層の底の割れ目中に割れ目が多い。
 白濁化は多い。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

深尺 35 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05				2.5YR 6/2 灰褐色	✓	✓	✓	Y	2		CM	
36	35.94				X			X	✓	✓		
05				2.5YR 6/2 灰褐色	✓	✓	✓	B	β	2	CH	
37	36.80		Gp						✓	✓		
	37.30				X			X			CM	
05				2.5YR 6/2 灰褐色	✓	✓	✓	δ	2		CL	
	37.55				X			X			DV	
	37.69				✓	✓	✓	ε	3			
	37.81				X							
38								Y	2	16	16	CL
	38.21				✓	✓	✓	δ	3			
05					X							
	38.40				✓	✓	✓	Y	2			CM
39								X				
	38.74				X			X				
05					✓	✓	✓	Y	2			CL
40									✓	✓		

35.31m, 60° 割れ目と厚さ 1/3% の交代。
 35.47m, 50° 割れ目と 90° 割れ目がわかる (高位置不明)。
 35.94 ~ 37.30m : CH
 堅硬、割れ目性状の割合が多い。
 36.07 ~ 36.32m、割れ目と岩芯の一部でマロン鉄染を
 受ける。交代は伴わない。この高位置の 20° 割れ目
 は同様に高位置分布する。
 37.03m, 50° 割れ目と 90° 割れ目と厚さ 3/4% の交代の交代
 10° 割れ目。この 50° 割れ目は交差する割れ目と一致する (高位置不明)。
 37.30 ~ 37.55m : CM
 高位置の交代、岩片の交代。
 37.55 ~ 37.69m : CL
 上下端は 20° 割れ目と 90° 割れ目と交代の交代。交代の交代。
 37.69 ~ 37.81m : DV
 30° 割れ目と 90° 割れ目と交代の交代。厚さ 1/3% の交代。
 37.81 ~ 38.50m : CL
 38.21m 以降は 50° 割れ目と 90° 割れ目と交代の交代。交代の交代。
 交代の交代。交代の交代。
 38.50 ~ 39.14m : CM
 一部で 90° 割れ目と 90° 割れ目と厚さ 1/3% の交代。交代の交代。
 交代の交代。
 39.14 ~ 40.79m : CL
 高位置の交代。交代の交代。交代の交代。交代の交代。
 交代の交代。交代の交代。
 割れ目と 90° 割れ目と厚さ 1/3% の交代の交代。

調査名		孔番・深度		観察日								
		427 B-3 (40 ~ 45)										
標尺 40 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	40.10			ス・5YR 7/2	✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y				40.14 ~ 40.26 m: 50~60割れ目の厚さ1~2%の粗岩粒状粒岩。
	40.42				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y				40.42 m: 深部岩片自身の粒化の進行、割れ目の粒化 代り粒状岩。
	40.79				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y	2			40.79 ~ 41.03 m: CM - 一部の割れ目の閉塞、割れ目の結核物は分布しない。
41					✓ b	✓ IV	✓ c	✓ Y				41.30 m: 深部で日露層底の侵入割れ目が多い。一部では 既に閉じた。C2V 41.30 m: 60割れ目に4~2+4%石英が多量に散在。
	41.83				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y				41.83 ~ 41.95 m: D 上部60割れ目割れ目の閉塞、割れ目の結核物は不明確化
42			Gp	ス・5YR 7/2 明褐色	✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y				41.95 ~ 42.70 m: c2 割れ目の多さに、粗粒中砂の薄層を認め、 厚い部は白濁化している。 42.36 ~ 42.40 m: 下部端部40割れ目に閉じた粒化砂岩化、 割れ目直下の破砕帯と主たる断面と同方向の40~50割れ目の主体
	42.70				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y				42.70 ~ 42.85 m: b 粒化の進んだ粗粒砂岩。粗粒中砂割れ目の一部は閉塞している。
	42.85				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y	4			42.85 ~ 42.91 m: 破砕帯 (主たる断面42.85m)
43					✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y	3			42.85 ~ 42.87 m: Hc-2 上部95%の直線粒岩、下部4%の滑り、連続。9~2%の石英粒、 95%粗粒中砂と20%の粗粒中砂の平均粒状粘土(0.2%)。 上部1~2%の粗粒中砂の粗粒化(明黄褐色: 10YR 5/6)あり。 色調は灰白(2.5Y 8/1)、厚さ1.5~2.5cm
	42.91				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y				42.87 ~ 42.91 m: HJ 上部4%、下部66%の粗粒中砂岩。下部は不明瞭な部分 あり。95~10%の粗粒中砂、粘り割れ、粘り割れの一部は 粘土層に付着する。粗粒中砂岩の分布は、全体に粘土混入 粘り割れあり。色調は明褐色(2.5YR 7/2) 厚さ60cm
	43.00				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y	3			42.91 ~ 43.00 m: D 粗粒中砂岩と粘り割れ。粗粒中砂割れ目は閉塞(2nd 白く粘土に付着している)。
	43.17				✓ c	✓ IV	✓ c	✓ Y	2	33	13	43.00 ~ 43.17 m: c2 割れ目の砂岩化。白く粘土に付着している。
44					✓ b	✓ IV	✓ c	✓ Y	2			43.17 ~ 43.66 m: CM 硬さc2と主たる部分あり。一部粘土に付着する粗粒中砂岩の混合。 割れ目の一部は粗粒中砂の薄層と粘り割れ。粘り割れ の割れ目の主体。面は滑らかな粗粒中砂岩の粗粒化は白く、 一部は粘り割れに含有する粗粒中砂岩の粗粒化は白く、 粘り割れに含有する粗粒中砂岩の粗粒化は白く、粘り割れに含有する粗粒中砂岩の粗粒化は白く。
	43.66				✓ b	✓ IV	✓ c	✓ Y	2	11	11	
45					✓ b	✓ IV	✓ c	✓ Y	2	11	11	

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (45 ~ 50)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 45 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの種ま	風化				変質	RQD
	0.5	43.66			✓ b	✓ IV	✓ c	γ	2		CM ✓	<p>45.00 ~ 45.40 m : 80-90°の角度割れ目が連続。交差する割れ目の一部は高角度割れ目と一致する。</p> <p>45.41 ~ 45.50 m : 割れ目の交差。一部が5~20%に片状化された中粒岩は認められる。</p> <p>45.66 ~ 46.14 m : C₂ 風化で割れ目は細粒化で片状化が認められる。</p> <p>46.14 ~ 47.58 m : CM 堅硬で割れ目の多くは石が白濁化して。割れ目標本物はほとんど分布しない。 47.00 ~ 47.23 m : 同様に割れ目の中岩岩の一部が軽微なマクロ破砕岩である。</p> <p>47.24 ~ 47.59 m : 同様に上下端の割れ目はほぼ同方向に20~45%に片状化する。割れ目標本物はほとんど認められない。</p> <p>47.59 ~ 47.77 m : C₂ 30~40%割れ目の多くは割れ目には厚さ2~5%程度片状化で細粒化</p> <p>47.77 ~ 48.61 m : CM 堅硬で石の白濁化が認められる。一部は低角度の低い割れ目を含む。 割れ目標本物は分布しない。</p> <p>48.61 ~ 50.36 m : C₂ 硬質で割れ目と硬質の石が交互に分布する。 低角度の低い割れ目の中層割れ目も多く認められる。 割れ目には厚さ10%程度片状化が認められる。また、一部はマクロ破砕岩である。 48.61 ~ 50.36 m : 硬質で。48.61 ~ 49.40 m : 厚さ15%。 50.10 m : 厚さ30%程度の片状化が認められる。 50.36 ~ 50.76 m : 厚さ30%程度の片状化が認められる。</p>	
	0.5	46.14			✓ c	✓ V	✓ b	δ	3	12	12		C ₂ ✓
46	0.5	47.58			✓ b	✓ IV	✓ B	γ	2	21	11		CM ✓
	0.5	47.97			✓ c	✓ V	✓ δ	δ	2				C ₂ ✓
48	0.5	48.61			✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	11	11		CM ✓
	0.5	50.36			✓ c	✓ V	✓ c	δ	3	0	6		C ₂ ✓
49	0.5	50.76											
50													

G₁ 欠付 7/2 明礪

調査名

孔番・深度 407 B-3 (50 ~ 55) 観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩紋区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	0.5	50.76			✓	✓	✓	δ	3			
	5.1	51.16		2.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	δ	3	0	4	C ₂ ✓
	0.5	52.00	Grp		✓	✓	✓	δ	3	0	4	
	0.5	52.32			✓	✓	✓	δ	3			
	0.5	52.75			✓	✓	✓	γ	2			
	0.5	53.10			✓	✓	✓	δ	3	0	6	
	0.5	53.85		2.5YR 7/3 いさむ	✓	✓	✓	δ	3	0	6	C ₂
	0.5	54.31			✓	✓	✓	δ	3	0	5	
	0.5	54.85			✓	✓	✓	δ	3	0	5	

50.00 ~ 50.72 m 70°前後の微細な片状割れ目から鉄染
 痕跡が認められる。この割れ目はハニエの産状で
 合致するものがある。

50.76 ~ 51.16 m は硬さの主体で、30~50割れ目が多く
 割れ目の厚さ1~3mmと薄く、砂状部はほとんどない
 多い。若干自身の上下に硬さが増している。

51.16 ~ 52.00 m は硬さの主体。
 51.55 ~ 51.59 m 同様の割れ目と交差し、交差部は主体に
 して砂状部が認められる。
 鉄染痕跡も少量認められる。

52.00 ~ 52.32 m
 51.00 ~ 20% 硬さの主体と若干同様の砂状部がある。

52.32 ~ 52.75 m
 表面の白化の多い硬さの塊状。一部硬さの塊も存在。
 δの一部は高層度の低い割れ目を含む。

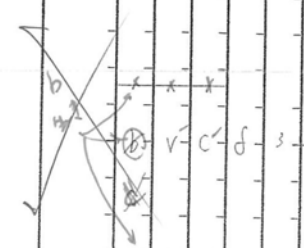
52.75 ~ 53.10 m
 若干自身の硬さの塊状と軟化部。一部硬さの塊状。

53.10 ~ 53.82 m
 高層度の低い割れ目が多い。一部硬さの塊状も認められる。
 割れ目の一部は砂状化し、白色部も認められる。
 色調は「黄褐色」帯に属する。

53.40 ~ 53.60 m 同様の硬さの塊状に、比較的割れ目の鉄
 染痕跡も認められる。

53.85 ~ 54.31 m 同様の割れ目と硬さの塊状。

54.35 ~ 54.59 m 割れ目と硬さの塊状の一部が軟化
 部を伴って認められる。鉄染痕跡も認められる。



77E
 ↓

調査名

孔番・深度 H27 B-3 (55 ~ 60)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質			
55	55.00										
56	55.82										
57	56.69										
58	57.29										
59	58.09										
60	60.00										

55.00 ~ 55.55 m: 割れ目の形状はほぼ直線的で、割れ目の幅は約 2mm 程度である。

55.00 m: 25° 傾斜した 5~10% の黄褐色粘土質の硬質。粘土質の下に厚さ 10% の砂質部がある。

55.82 ~ 56.69 m: 割れ目の傾斜が分布している。割れ目の傾斜は 25° 程度である。下部には砂質部がある。

56.69 ~ 56.72 m: 破碎帯 (主として断面 56.72 m)

56.69 ~ 56.72 m: HJ
上部 30° 傾斜して、下部 31° 傾斜して連続的に連続。φ2~10% の硬質。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。

56.72 m: Hc-1
31° 傾斜して連続的に連続。φ1% の硬質。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。

56.72 ~ 57.29 m: D
割れ目の傾斜は 31° 程度。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。

56.94 ~ 56.97 m, 57.00 ~ 57.02 m: 25° 傾斜した 5% 程度の硬質。

57.29 ~ 58.09 m: C2
40~50° 割れ目全体。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。

58.09 ~ 58.98 m: 破碎帯 (主として断面 58.98 m)

58.09 ~ 58.94 m: HJ
上部 20° 傾斜して、下部 25° 傾斜して連続。20~30° 傾斜した粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。

58.94 ~ 58.96 m: Hb
25° 傾斜して連続。φ2~4% の硬質。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。

58.96 ~ 58.98 m: Hc-2
25° 傾斜して連続。粘土質の粘りや粘り部分の砂質粘土質。

58.98 ~ 59.69 m: C2
59.69 ~ 59.75 m: 破碎帯 (主として断面 59.69 m)

59.69 m: Hc-1

↑ 部分 ↓ 部分

調査名

孔番・深度

H=7 B-3 (60 ~ 65)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 60 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質	
											62.2 ~ 下端まで連続的に連続。石英粒、斜片、結晶、含有量の異なる軟質粘土(砂質)。色調は黄褐色(10YR 5/6)、厚さ1mm		
	0.5			2.5YR 6/2 灰褐色	✓b	✓IV	✓C	γ	2		CM	59.69 ~ 59.75 m: HJ 上端59.75 ~ 下端59.70 mまで連続的に連続。砂質、20%程度の砂質粘土、砂質部は砂質。砂質部は砂質。粘土は分布不均。色調は1.5YR 6/3 (2.5YR 6/3) 厚さ40~60mm	
	61							10	5		CM	59.75 ~ 60.00 m: CL 割れ目状の分布は少ない。	
	61										CM	60.00 ~ 61.40 m: CM 岩質の硬さ、割れ目や割れ目が多く含む。割れ目の存在は少ない。	
	65			2.5YR 6/3 灰褐色	✓c	✓V	✓D	δ	3		CL	61.40 ~ 61.67 m: CL 割れ目状に砂質化の進む。	
	65										CL	61.67 ~ 61.81 m: CM 砂質部は堅硬な硬質「B」を含む。割れ目状の存在は少ない。砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	62		GP		✓b	✓IV	✓C	γ	2	0	3	CM	61.81 ~ 62.23 m: CM 砂質部は堅硬な硬質「B」を含む。割れ目状の存在は少ない。砂質部は砂質。砂質部は砂質。
	62										CL	62.23 ~ 62.25 m: CL 硬質「B」と「C」の繰り返しで構成。	
	65			2.5YR 6/2 灰褐色	✓c	✓V	✓D	δ	3		CL	62.25 ~ 62.82 m: CL 全体の割れ目に砂質粘土の存在は多い。硬質「B」の存在は割れ目に砂質化の存在は少ない。	
	63				X					0	5	CL	62.82 ~ 62.93 m: 砂質、20%程度の砂質粘土と斜片、砂質部は砂質。砂質部は砂質。
	63										CL	62.93 ~ 63.03 m: 砂質、20%程度の砂質粘土と斜片、砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	63										CL	63.03 ~ 63.04 m: 砂質、20%程度の砂質粘土と斜片、砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	65				✓c	✓IV	✓C	γ	2		CL	63.04 ~ 64.17 m: 砂質、20%程度の砂質粘土と斜片、砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	65										CL	64.17 ~ 64.52 m: 砂質、20%程度の砂質粘土と斜片、砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	64				X						CL	64.52 ~ 64.72 m: 砂質、20%程度の砂質粘土と斜片、砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	64				✓c	✓IV	✓C	γ	2		CL	64.72 ~ 64.82 m: 砂質、20%程度の砂質粘土と斜片、砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	65			2.5YR 6/4 灰褐色	✓b	✓IV	✓C	γ	2		CM	64.82 ~ 66.09 m: CM 砂質部は堅硬な硬質「B」を含む。砂質部は砂質。砂質部は砂質。	
	65										CM	66.09 ~ 66.51 m: CM 砂質部は堅硬な硬質「B」を含む。砂質部は砂質。砂質部は砂質。	

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (65 ~ 70)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	65.39			2.5YR 6/4 1.5の塊	✓	✓	✓	Y	2			
0.5	65.61			2.5YR 6/2 灰緑	X	X	X	X	X		CM	
66	66.05				✓	✓	✓	Y	2			
	66.39			2.5YR 6/3 1.5の塊					X			
0.5	67.00		Gp						0	9		
67	67.18				✓	✓	✓	0	2		C2	
	67.70			2.5YR 7/2 暗緑灰								
0.5	68.06				X	X						
68	68.06											
	68.60				C	V	E	E	3		D	
0.5	68.71			2.5YR 9/1 暗灰								
	68.93				X	X	X	X	0	2		
69	68.93			2.5YR 7/3 1.5の塊								
	69.95			2.5YR 7/2 暗緑灰								
0.5	70.00								0	4		

65.19 m. 30° 割れ目 厚 10% で 酸化 進む。薄い 砂状 部 あり。

65.34 m. 35° 割れ目 厚 25% の 硬質 部 あり 硬質 部 酸化 進む。上部 部 酸化 進む。

65.57 m. 35° 割れ目 厚 20% の 砂状 部 あり 酸化 進む。

65.61 m. 65° 割れ目 厚 2% の 硬質 部 あり。

65.09 m. 55° 割れ目 厚 5% の 砂状 部 あり。コンクリート 部 あり。

66.37 ~ 66.80 m. 割れ目 厚 30 ~ 40% の 硬質 部 あり 酸化 進む。砂 部 酸化 進む。

66.39 ~ 68.06 m: C2
割れ目 厚 5% の 硬質 部 あり。一部 部 割れ目 厚 5% の 硬質 部 あり。上部 部 酸化 進む。一部 部 酸化 進む。

67.12 m. 55° 割れ目 厚 5% の 砂状 部 あり。割れ目 厚 5% あり。

67.30 ~ 67.70 m. 60 ~ 70° 高角度 割れ目 厚 10% の 硬質 部 あり。上部 部 厚 2 ~ 3% 酸化 進む。

68.06 ~ 68.93 m: D
上部 部 酸化 進む。厚 10 ~ 20% の 硬質 部 あり。上部 部 酸化 進む。

68.90 ~ 68.93 m. 厚 2% の 硬質 部 あり。

68.93 m. 30° 割れ目 厚 15% の 硬質 部 あり。上部 部 酸化 進む。上部 部 酸化 進む。

68.93 ~ 70.10 m: C2
30° 前後 割れ目 厚 5% の 硬質 部 あり。一部 部 厚 10% の 硬質 部 あり。厚 1% の 硬質 部 あり。上部 部 酸化 進む。

69.95 ~ 70.00 m. 一部 部 厚 5% の 硬質 部 あり。上部 部 酸化 進む。

調査名		孔番・深度		観察日								
		427B-3 (70 ~ 75)										
標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<h3>基盤岩コア観察カード</h3> <p>記事・破砕性状・詳細スケッチ等</p>
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	70.10											
	0.5											
	71		Gp	25R 1/2 明揚灰	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	<p>70.10 ~ 71.72 m : D</p> <p>月化と変質と著しく軟化部あり、岩組織と割れ目は観察し難い。</p> <p>20.17 ~ 20.20 m. 25°の斜打、マロング脈状に分布する黒色呈相。下盤側 厚さ10%の硬化した結核状部を伴う。</p> <p>20.20 ~ 71.30 m は 粘土を主成分とした軟弱部を伴う。厚さ1%の粘土部を伴って分布部がある。</p> <p>71.30 m 以下は 硬く薄片状の粘土と軟弱部を伴う。部分約1/1 ~ 2% 硬く、粘土に粘土色を伴う。</p>
	0.5											
	71.72											
	72											<p>71.72 ~ 72.76 m : C</p> <p>10 ~ 20% 硬く、薄片状、一部の薄片状には粘土と軟弱部を伴う。</p> <p>全体の硬さの低い割れ目や軟弱部は多く、1/2の打撃で容易に砕片化する。</p> <p>72.12 ~ 72.17 m 間の30°斜打は 面に沿って硬化した粘土が拡大している。</p>
	0.5											
	72.65											
	72.93											
	73											
	0.5											
	73.11											
	73.38											
	0.5											
	74			25R 1/2 明揚灰	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	<p>73.38 ~ 73.98 m : D</p> <p>一部は硬く、薄片状、一部の薄片状には粘土と軟弱部を伴う。</p> <p>粘土を伴った硬く、一部の薄片状には粘土と軟弱部を伴う。</p> <p>粘土を伴った硬く、一部の薄片状には粘土と軟弱部を伴う。</p> <p>73.98 ~ 74.04 m. 25°斜打、厚さ20%の硬化した粘土を伴う。</p> <p>74.04 ~ 74.29 m. 25°斜打、厚さ20%の硬化した粘土を伴う。</p> <p>74.29 ~ 74.48 m. 20°斜打、粘土と軟弱部を伴う。</p> <p>74.48 ~ 74.72 m. 硬く、薄片状、粘土を伴う。</p>
	0.5											
	75											
	75.00											

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (75 ~ 80)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 75 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05	75.05 ~ 75.56				✓	✓	✓	δ	3		C ₂ V	75.05 ~ 75.56 m 割れ目一部に幅1.0%の白色軟質粘土状脈状に付着する。
76	75.56 ~ 76.00									0	7	75.56 m 幅3~5%の硬質部が斜交に割れ目として連続し、粘土状脈の付着は伴わない。
	76.00 ~ 76.07									0	7	76.00 ~ 76.07 m 2742-2311層に乱入した10%前後の深状硬代C ₂ 。
	76.07 ~ 76.11											76.11 ~ 76.23 m 10~20%の低角度割れ目が多い。一部は白色粘土(幅0.5%)を伴う。
	76.23 ~ 76.59				✓	✓	✓	γ	3			76.23 ~ 76.59 m: D 76.41 m 以下は3~5mm粗粒状粘土質に付着。 76.41 m 以下は大部分が割れ目と剥離層(1~2)の割れ目にて、20mm以下の破砕点に分布する。
05	76.59 ~ 76.65		Gp		X	X	X	δ	4		D V	76.59 ~ 76.65 m: 破砕帯(主断面 76.59 m) 76.59 m: Hc-1 47%以下端部は連続的に連続。41%石英と2%の(4%以下)を含む軟質粘土(0.2%)。色調は明黄褐色(2.5Y 7/6)。厚1mm
	76.65 ~ 76.89				✓	✓	✓	δ	4			76.65 ~ 76.89 m: Hb 上端55%以下端55%まで連続的に連続。20%石英と黒色C ₂ と4~2mm石英。9~10%粘土と2%の(20~30%含む)軟質粘土(0.2%)を伴う。主断面とほぼ平行な割れ目(4)が分布。色調は灰白(2.5YR 7/3) ~ 灰白(2.5YR 7/3)。厚240mm
77	76.89 ~ 77.00									0	2	77.00 ~ 77.05 m: HJ 上端55%以下端55%まで連続的に連続。9~10%石英と0~1%粘土と平行な割れ目(4)が分布。「粘土層(7)の付着」を伴う。76.70 mと76.78 mに主断面と平行な割れ目(4)が55% 33%の断面(5)が分布。一部は20mmの石英層(4)を伴う。色調は灰白(2.5YR 7/4) ~ 灰白(2.5YR 7/4)。厚240% (0.9層)
05	77.00 ~ 77.05				✓	✓	✓	δ	3			77.05 ~ 77.15 m: C ₂ 硬代C ₂ 層主体で硬代C ₂ 部が硬代C ₂ も含む。割れ目等に粘土と付着した付着。特に破砕帯直下の76.89 ~ 77.00 mで粘土の付着が認められる。
78	77.05 ~ 77.15				✓	✓	✓	δ	3			割れ目は20~30%の軟質粘土(0.2%)が多い。一部は剥離層(4)を伴うものもある。 10~20%の高角度系に付着。色調は灰色割れ目が多い。
05	77.15 ~ 77.27											77.27 ~ 77.77 m 4~10%細粒状~粗粒状砂状を伴う。 77.77 ~ 77.85 m 硬代C ₂ 硬代C ₂ 。
	77.27 ~ 77.77		Gp		X	X	X					77.85 ~ 78.05 m 硬代C ₂ 硬代C ₂ の付着が多い。
79	77.77 ~ 77.85				✓	✓	✓	δ	4			77.85 ~ 78.05 m 硬代C ₂ 硬代C ₂ の付着が多い。
05	78.05 ~ 78.15				✓	✓	✓	δ	4			78.15 ~ 78.03 m: D 主断面は粘土質の付着が連続。割れ目(4)に付着。 一部は45~20%程度の硬代C ₂ 層の付着が認められる。硬代C ₂ 層主体で連続的に岩組織と割れ目。一部は剥離層(4)を伴う。割れ目は10~30%の高角度系に付着
80	78.15 ~ 78.27				✓	✓	✓	δ	4			

75
76

78
79

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (80 ~ 85)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 80 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05										<p>80.14 ~ 80.31 m 幅1%、長さ10~20%の割れ目あり の層あり。</p> <p>80.36 m 以降は、深さ「E」の層に、老片間の粘土化部 あり。</p> <p>80.36 ~ 81.68 m 間は割れ目老片の一部あり、 深部まで。</p> <p>81.70 ~ 82.40 m 老片間の老片の一部あり、 風化・褐色化あり。</p>
81				2.5YR 7/2 明褐色					0.5		
	05										
	81.75										
	81.95										
82			Gp	10YR 7/6 明黄褐色					0.4		
	05										
	82.19										
	05										
	82.39										
83				2.5YR 7/2 明褐色					0.3		
	05										
	82.30										
	05			10YR 7/6 明黄褐色							
	82.50										
	05										
	82.59										
84				2.5YR 5/2 灰褐色					0.3		
	05										
	84.58										
	05										
	84.58										
85									0.3		

調査名

孔番・深度

H27B-3 (85 ~ 90)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
05	85.03		Gp	25YR 6/3 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓	C2
	85.61			25YR 6/3 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓	
	86.70			X	X	X	δ	3	✓		
05			Gp	25YR 5/1 褐灰	✓	✓	✓	δ	4	✓	D
				25YR 5/1 褐灰	✓	✓	✓	δ	4	✓	
				X	X	X	δ	4	✓		
05	87.18		Gp	10YR 6/3 灰褐色	✓	✓	✓	ε	3	✓	D
				10YR 6/3 灰褐色	✓	✓	✓	ε	3	✓	
				X	X	X	ε	3	✓		
05	88.18		Gp		✓	✓	✓	ε	3	✓	D
					✓	✓	✓	ε	3	✓	
				X	X	X	ε	3	✓		
05	89.00		Gp		✓	✓	✓	ε	3	✓	D
					✓	✓	✓	ε	3	✓	
				X	X	X	ε	3	✓		
05	89.86		Gp		✓	✓	✓	ε	3	✓	D
	90.00			25YR 7/2 暗褐色	✓	✓	✓	ε	3	✓	

85.03 ~ 85.61 m : C2
 ・一部「硬土」層が分布する。割れ目も比較的少ない。
 ・85.36 ~ 85.60 m 間は割れ目の増加が認められる。
 ・85.48 ~ 85.52 m 間は鉄水酸化し、淡黄色を呈する。
 90.5 m 以下の鉄質を要観察する。

85.61 ~ 86.70 m : D
 ・硬土「硬土」層と岩片間の粗粒化・砂状化部が認められ、全体的に粗粒化が著しい。

86.70 ~ 87.18 m. 40 ~ 50 割れ目層に「硬土」の岩片が分布する。岩片中には細粒の割れ目も認められ、9割程度は粗粒化が認められる。

87.18 ~ 88.18 m は、粗粒化の砂状化が認められ、稀薄な「硬土」の層が認められる。
 ・88.18 ~ 88.52 m の基盤部は「硬土」である。

88.18 ~ 89.00 m は、割れ目(2)の層が認められ、割れ目の認識が認められる。

89.00 ~ 90.14 m は、層に相対的に岩片の層が認められ、基質に相対的に粗粒化部は粗粒化の層(硬土)に相対する。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05											
	91											
	05											
	92											
	05											
	93											
	05											
	94											
	05											
	95											



90.15 ~ 90.55 m 結晶質部と硬く「C」主体の硬質部と硬質部。一部は割れ目の発達している。

90.55 ~ 90.85 m はスライム

90.85 ~ 91.00 m 浸食部の中層部と、基盤の砂状部は浸食時に流決しみの推定あり。

91.35 ~ 91.54 m: 破砕帯 (主断面 91.44 m)

91.35 ~ 91.43 m: Hb
 上部30°を流す。下部20°を流す。連続。40-50%石英粒、中層10%粘土の砂状部は30%程度含む軟質部「浸食粘土」を呈す。色調は灰白(2YR)〜灰白黄緑(10YR 7/6) 厚: 80mm

91.43 ~ 91.44 m: Hc-1
 上部20°を流す。下部10°を流す。連続。40%石英粒と粘土の(5%以下)含む軟質部(40%)。色調は灰白(2YR)。厚: 20mm

91.44 ~ 91.51 m: Hb
 上部20°下部10°を流す。連続。40%石英粒の硬質部は30%程度含む軟質部「浸食粘土」を呈す。色調は黄緑(10YR 6/3)。厚: 50-60mm

91.51 ~ 91.54 m: HJ
 上部10°を流す。下部20°を流す。連続。下部面とほぼ平行な20-30°割れ目と10°を流す割れ目とで40%程度に硬質Dの層が砂状化。層間には軟弱粘土を呈す。全体は「粘土混り層状」を呈す。色調は灰白(2YR 7/4)。厚: 20-25mm

91.54 ~ 93.05 m: D
 40%前後の硬質「D」層と「浸食部」の粘土〜砂状部を呈す。全体は軟化部。92.00m 浸食部は石英粒が砂状化部。

93.05 ~ 93.66 m: C2
 20-30°割れ目と多量。割れ目には1-3%程度の砂状部〜粘土化部を呈す。

93.66 ~ 93.86 m: D
 下部20°割れ目と連続。粘土化と砂状化部を呈す。

93.86 ~ 94.50 m: C2
 40-70°を流す。連続。40-50°割れ目あり。

94.43 m 浸食部は硬く「B」。94.43 m 浸食部硬く「B」主体。

94.55 ~ 94.81 m 10-20°割れ目と連続「砂状部」を呈す。

94.83 m 浸食部は層状「B」粘土の層も多量含む。割れ目と10-20%程度の割れ目と連続部との小割れ目(20)。割れ目の一部は20°連続部あり。

調査名

孔番・深度

47B-3 (95 ~ 100)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05			スズヤR 1/2 灰褐色	✓ C	✓ V	✓ C	Y	3			95.50~95.91 m は割れ目の少ない、φ10mm/φ5mm の小断片に多い。
	96	95.94 96.00			X	X	X	X	0	2		96.96 m、60°割れ目、厚1mm程度の鉄質粘土に付着、上盤10cm厚を約5%のマンガン鉄染部を伴う。 96.94 ~ 96.95 m は硬さ「B」の断片コア主体、ここに硬さを混入可。
	05			スズヤR 7/2 明褐色								96.42~97.60 m、30~40°と60~70°割れ目が交差し、前者は後者に沿って若干の間隔で（右側3~5%）
	97	97.05	Gp		✓ C	✓ V	✓ D	δ	3	0	2	97.07 m 幅2~3%、150°を呈し、鉄は伴わず。
	05			スズヤR 7/4 灰褐色								97.58 ~ 97.69 m マンガン鉄染が濃く、黒褐色化。
	98	98.05 98.19			X	X	X	X	0	6		97.69 ~ 97.88 m 硬さ「C」の中核に固結化の幅1~2%の鉄染部、鉄染「C」~「D」の鉄染に混入可。
	05			スズヤR 6/2 灰褐色	✓ C	✓ V	✓ C	δ	3			98.02 m 幅2~3%、30°を呈し、一部に鉄染割れ目化可。 98.19 ~ 98.92 m、硬さ「C」主体、割れ目の面は褐色化が若干あり、割れ目には鉄染部を伴う。
	99	98.92			X	X	X	X	0	7		98.92 ~ 99.50 m、硬さ「B」主体、全体の鉄染（2~3%）あり、鉄染が若干あり。
	05	99.40 99.56 99.57 99.68		スズヤR 4/3 褐色	✓ C	✓ V	✓ E	δ	4			99.50 ~ 99.68 m: 硬さ帯 (主断面 99.46 m)
100				スズヤR 1/3 褐色	✓ C	✓ V	✓ D	γ	2			99.50 ~ 99.76 m: H1 上部は硬さ帯の外、下部は硬さ帯の外に連続、主断面は硬さ帯の断面に鉄染あり、鉄染に硬さ帯の割れ目と割れ目7~9mm/φ5mm硬さ帯の断片と鉄染化、断片間10~15%の白色鉄染粘土の鉄染に混入可。鉄染の「音」は若干あり、一部にマンガン鉄染部あり。

97.69
←
主断面
(E-1)と
↓
鉄染部
が若干
あり
96.9
↑
99
↑
99.10

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (100 ~ 105)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 100 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破碎度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
	100.36		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ D	✓ γ	2					<p>色調は明黄褐(10YR 8/6)、厚さ45cm。 ・99.56~99.57m: Hc-2 30°の上下端を流すように連続、φ1.3cmの一部分を剥離して 風化した石英粒10%程度を含む単相性粘土(砂質)。連続 は灰白(2.5YR 8/6)、厚さ5~10cm/m ・99.57~99.60m: HJ 上端を流すように、下部37°の連続的に連続。主として断面と 平行な数本の割れ目と、kに直交60°斜交の割れ目とあり、φ5~ 20%に分布し、若干の間には粘土は砂と分布する。砂状部は 102cm。「砂状の粘土」を呈し、20%程度の砂の混入、厚さ 約10cm(10YR 4/3)と、厚さ25cm 99.60~101.70m: Cc 上・下端部の硬さ「D」、中部は硬さ「C」主体、下部側の 101.45m以下は硬さ「C」変質が、進んで硬さ「D」と硬さ 100.00~101.00m。硬さ「D」の混入、割れ目と中部割れ目と多 含む。砂状部は割れ目状の砂質部。 ・101.45~101.70m 幅1~2%の白色粘土の脈状多 含む 101.70~104.20m: Cm ・上端部の101.70~102.56m 硬さ「C」、102.56m 以下は硬さ「B」と硬さ「C」あり。 ・割れ目状の砂質部は上部の硬さ「C」部分 以下、割れ目状に砂化して進んで砂質部あり。 ・102.56m 以下の硬さ「B」の短柱状の粘土コアには 幅1~2%の白色脈状の「中層割れ目」が多量に分布する 1/2-1の径打では合流する。 ・割れ目状の粘土と接する砂質部の混入は、一部は厚さ 2~3%の砂状の粘土部は102cmの砂質部あり。 ・103.20m、103.28mの割れ目60°割れ目は交互に割れ目と あり(方位不明)、前者は厚さ2~3%、後者は2~3%程度の の砂質部あり、20%分布する。 ・103.94~104.0m D化=深褐色化(軟化部) 104.08~104.80m: Ch 堅硬な塊状 ・一部の中層割れ目(砂質部の砂)と分布する砂質部 の高さ、1/2-1の径打では合流する。</p>
	100.50												
	101.45												
	101.70												
	102.34												
	102.49												
	102.56												
	103.20												
	103.28												
	103.94												
	104.00												
	104.28												
	104.80												
	105.00												

調査名

孔番・深度

H-9 B-3 (105 ~ 110)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 105 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
	105.19		褐灰	2.5YR 6/1 褐灰								105.16 ~ 105.19 m: 割れ目などに同様の薄く結石化が認められる。 105.23 ~ 105.52 m: 割れ目などに軽微にマンガン結染を認める。
05	105.79 105.80			2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	
106	106.29		Gp	2.5YR 7/3 橙	✓ b	✓ IV	✓ B	γ	2		CM	105.80 ~ 106.27 m: CM 上部は堅硬であるが、全体に割れ目により同様の結石化が認められ、中層割れ目が多く、その結石化は右側のハニシ層で合流し、細分化している。時に同様の薄層も認められる。挿在物がない割れ目も存在する。
05	106.60			1.05 橙	✓ b	✓ IV	✓ C					106.30 ~ 106.60 m: 中層割れ目が約10%の間隔で密に分布しているが、一部の割れ目は密度が低い。
107	107.32		Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ IV	✓ B	γ	2		CM	107.30 m 以下では約2-3%の細粒石が結石化した暗緑灰色斑状点も存在する。 また、割れ目の面が結石化を呈しているものが多い。
05	107.61			2.5YR 7/2 明褐灰	✓ b	✓ IV	✓ B	γ	2			107.60 ~ 108.60 m: 約5-10%の大型の珪石斑状点を含む。
108	108.63 108.71		Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	108.60 ~ 108.71 m: 割れ目などに細分化が認められる。
05	108.71 108.71			2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	108.71 ~ 112.27 m: CH 堅硬・塊状 白筋状の中層割れ目と珪石を含む。上部の周囲と同様に、密度が高くなる。ハニシ層で合流し（含む）。割れ目挿在物は分布しない。 割れ目などは、ごく薄く結石化が認められる。
109			Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	
05				2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	
110			Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	
05				2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (110 ~ 115)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05									25	15	
111					b	III	B	β	2			C4
	05									12	12	
112			Gp	灰緑色 褐灰	X	X	X	X				
	05									20	10	CM
113					X	X	γ	X				
	05									22	30	C4
114												
	05									40	22	CM
115					c	IV	B	γ	2			

110.50 ~ 110.95m, 50~60°と北に近づくにつれて 10~30°
割れ目が増える。中層割れ目は傾度が高い。
両端割れ目は両層割れ目の一部に属する。

111.14m, 80°割れ目11/92, 12/27m 緑灰色結晶質の石英質
砂岩の割れ目が多い。割れ目は傾度が高い。

111.3/ ~ 111.34m, 割れ目は傾度が高い。褐色化が
ある。

112.00 ~ 112.27m, 70~80°と北に近づくにつれて 20~30°
の割れ目が増える。割れ目は傾度が高い。割れ目の
傾度は傾度が高い。割れ目の傾度は傾度が高い。

112.27 ~ 113.27 m : CM
堅硬で割れ目が多い。割れ目は傾度が高い。
割れ目は傾度が高い。割れ目は傾度が高い。割れ目の
傾度は傾度が高い。割れ目の傾度は傾度が高い。

113.27 ~ 114.68 m : C4
堅硬、塊状
割れ目は傾度が高い。割れ目は傾度が高い。割れ目の
傾度は傾度が高い。割れ目の傾度は傾度が高い。

114.24m, 80°割れ目11/92, 12/27m 緑灰色結晶質の石英質
砂岩の割れ目が多い。割れ目は傾度が高い。

114.40m 以降の割れ目一部は傾度が高い。褐色化が
ある。割れ目は傾度が高い。割れ目は傾度が高い。

114.68 ~ 115.12 m : CM
70~80°割れ目が多い。割れ目は傾度が高い。割れ目の
傾度は傾度が高い。割れ目の傾度は傾度が高い。

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (115 ~ 120)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 115 (m)	深度 115.00 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの硬さ	風化	変質	変質			
	115.12											
	0.5											
	116			2.5YR 6/4 褐灰	b	III	B	β	2	34	12	CH
	0.5											
	116.80				X	X	X	X	X			
	0.5											
	117		Gp		b	IV	B	γ	2	47	25	CM
	0.5											
	117.32											
	117.39											
	0.5											
	117.55			2.5YR 6/4 1.5M 褐	b	III	B	γ	2	10	10	CH
	0.5											
	118											
	0.5			2.5YR 6/4 褐灰	b	IV	B	γ	2			CM
	118.40				X	X	X	X	X			
	118.47											
	0.5											
	119											
	0.5											
	119.00											
	0.5											
	119.11											
	119.16											
	119.25											
	119.30											
	0.5											
	120											
	0.5											
	120.00											

115.12 ~ 116.8 m : CH
 堅硬、変質度の高い中層割れ目が多い。ハニーの色土の
 中層に細粒化(5%)
 115.12 m 割れ目断面は 74% 程度の緑泥石粘土
 12.2%。上層は厚さ約 50% は片状化(12.2%)

115.90 ~ 116.10 m : CH
 5% 程度の片状化の緑泥石粘土
 多く分布する。

116.33 ~ 116.80 m : CH
 20-25% 程度の片状化と 40% 程度の片状化
 後者は前者より多い(変質度 10% 程度)
 両層の割れ目断面は 1%、変質度 5% の緑泥石粘土
 12.2% (粘土) と 12.2% である。

116.80 ~ 117.32 m : CM
 一部硬く、変質度の低い緑泥石粘土の層
 割れ目断面は 10% 程度、変質度の高いハニーの層は
 分布しない。変質度の低い層は多い。
 細粒化は多い(5%)

117.32 ~ 117.39 m : CL
 15% 程度の厚さ 20-25% 程度の層は多い。

117.39 ~ 118.47 m : CH
 堅硬、一部は割れ目が多い。厚さ 10cm 以上の層は多い。
 色調は中層割れ目が多い。大半は変質度高(ハニー)の層は
 2% 程度分布する。
 2-3% 程度の緑泥石粘土の層は多い。
 割れ目断面は 12.2% 分布する。
 117.65 ~ 118.40 m 程度の層は多く、全体は 12.2% 程度の
 色調を呈する。

118.47 ~ 119.00 m : CM
 上層は 20% 程度の厚さ 20%、割れ目断面(2%)と、硬な
 層は 10% 程度。
 厚さは 10% 程度。

119.00 ~ 119.11 m : CL
 15% 程度の厚さ 20-25% 程度の層は多い。

119.11 ~ 119.25 m : HJ
 粗粒化(変質)層の一部は 20% 程度。

119.11 ~ 119.16 m : HJ
 上層は 50% 程度の厚さ 60% 程度の層は多い。5-10% 程度の
 層は多い。層間は 10% 程度の厚さ 10% 程度の層は多い。
 変質度の低い層は 12.2% (粘土層(10%)と、色調は 12.2% (2.5YR 6/4) ~ 5% 程度の層は多い。厚さ 50% 程度

119.16 ~ 119.18 m : Hc-1
 60% 程度の厚さ 70% 程度の層は多い。5% 程度の層は多い。
 10% 程度の厚さ 10% 程度の層は多い。色調は 10% (10%)。厚さ 7-10% 程度
 119.18 ~ 119.25 m : HJ

275

調査名		孔番・深度		観察日									
		H-7B-3 (120 ~ 125)											
標尺 (120 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	120.10				α	β	γ	δ	ε				<p>117~120 = P1 節石</p> <p>上端 60° 並斜めに、下端 40° 傾斜して連続。主として面と 120° 平行に 2~4mm 程度の割れ目 2~5mm に細片化。高層 間の一部は幅 1mm 程度の粘土細片が多分布。全体に 粘土質の片状に 2~3mm。色調は暗緑灰 (109 41) 厚さ 40mm</p> <p>119.25 ~ 120.10 m : C2 層の全体が粘土質で、20° の傾斜層の一部は粘質。 割れ目一部は厚さ 2~4mm の粘土質・粘土質の片状に 2~3mm。 下端の 120.02 ~ 120.07 ~ 12 割れ目には片状化進む。 120.09 ~ 120.10 m : 60° 厚さ 10~15mm 程度の片状に 2~3mm 厚さ 2mm。</p> <p>120.10 ~ 125.90 m : G1 堅硬、塊状。 割れ目粘土物は分布せず。面は 120° 未風化・新鮮 長石の白濁化は粘土質に認められる。</p> <p>121.60 : 4層割れ目の 120° 割れ目に 2~3mm。</p> <p>122.36 m : 60° 割れ目の一部に黄褐色の粘土質。 122.61 : 60° 割れ目厚さ 2mm の粘土質の片状に 2~3mm。</p> <p>123.63 ~ 123.67 m : 割れ目には片状化した 20° 新鮮な 硬質で、粘土質の粘土質に片状化は伴わない。</p>
05										64	31		
121													
05													
122			Gp	2+PR 6/1 粘土	α	β	γ	δ	ε	74	23	C1	
05													
123										76	41		
05													
124										88	26		
05													
125										47	20		

調査名		孔番・深度		H27B-3 (125 ~ 130)		観察日								
標尺 1/25 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	ROD
	05				✓ b	III	✓ B	β	2			CH ^Y	125.00" 以下は 中層割れ目は ほとんど 分布しない。	
126	125.90				X	X	X	X	✓ 29	✓ 19		CM	125.90 ~ 128.05 m : CM 堅硬な 200 μm 中層割れ目 0.5 割れ目 割れ目 化して 分布する。 割れ目は 現在物 15 程度 分布 中層化で 新産物 1.5 ~ 2.0 μm 間に 60 ~ 90° の 中層割れ目 化して 割れ目 化し 一部は 90° 間に 6° 傾斜化して 分布する。	
127	05		Gp	25YR 6/1 褐灰	✓ b	IV	✓ B	β	2	✓ 25	✓ 13	CM ^V	127.15 ~ 127.58 m 80 ~ 90° 間に 化して 中層割れ目 分布 約 10% 間隔で 平行に 分布 全幅 約 50% 間に 傾斜化して 分布 化して 分布 化して 90° 化して 分布 する。	
128	128.05				X	X	X	X	✓ 23	✓ 12		CH ^V	128.05 ~ 128.78 m : CH 堅硬。 128.05 ~ 129.00 m に 中層割れ目 0.5 割れ目 割れ目 化して 80 ~ 90° 割れ目 分布 約 15% 分布 約 20% 一部 90° 化 傾斜化して 分布 する。 128.78 m .33 割れ目 15 程度、2 ~ 3% 傾斜化して 分布 する 1 ~ 4% 分布 する。	
129	129.00					✓ b	IV	✓ B	γ	2	✓ 34	✓ 20	CM ^V	129.00 ~ 129.47 m : CM 白 筋状 の 中層割れ目 分布、大 層化 程度 高、1 ~ 2 μm 間に 分布 する。 割れ目 現在物 15 程度 分布 する。
130	129.47				X	X	X	X				CL ^V	129.47 ~ 129.84 m : CL 軟弱 程度 の 中層割れ目 分布、分布 約 現在物 15 程度 分布 する。	
	129.84					✓ b	V	✓ B	γ	2	✓ 20	✓ 10	CL	129.84 ~ 129.85 m : Hc-2 129.84 ~ 129.85 m : Hc-2 129.84 ~ 129.85 m : Hc-2 129.84 ~ 129.85 m : Hc-2

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質					
130	05		Gp	2.5YR 6/2 灰褐	✓	B	γ	2		C ₂ ✓	70cm 上部は緑色の下部は褐色で連続。φ1~3mm 石英粒、中2~3mm 石英粒 10~20% 含む粘質粘土 (シルト)。色調は緑灰 (10G 5Y)。厚さ2~5mm の一部厚さ0.5mm の片状部分あり。		
	130.57												129.95 ~ 129.91 m: H ₁ 上部 70cm 深部に、下部 60cm 70cm 深部に連続。φ2~5mm 片状の粘土質粘土に砂土質粘土あり。粘土量は他のH ₁ より多い。全体的に「粘土質粘片状」を呈す。色調は赤褐色を帯びた灰白 (2.5Y 7/1)。厚さ2.5~3.5mm
131	05		Gp	5GY 5/1 灰	✓	B	β	2	3	24	14	CM ✓	129.91 ~ 130.57 m: C ₂ 粘片は既述の如く。高角斜晶の、中層斜晶 0° ~ 20° 角の分布。片状の砂土質粘土あり。斜晶が互に薄く砂土質粘土に砂土質粘土あり。
	131.20 131.27												130.57 ~ 131.27 m: CM 粘片は既述の如く。高角斜晶の、中層斜晶 0° ~ 20° 角の分布。片状の砂土質粘土あり。斜晶が互に薄く砂土質粘土に砂土質粘土あり。
132	05		Gp	2.5YR 6/2 灰褐	✓	B	β	2				CH ✓	130.75 ~ 130.90 m: 粘片は既述の如く。高角斜晶の、中層斜晶 0° ~ 20° 角の分布。片状の砂土質粘土あり。斜晶が互に薄く砂土質粘土に砂土質粘土あり。
	132.41												131.27 ~ 132.41 m: CH 既述の塊状。130cm 新鮮。60cm 深部の中層斜晶の多量。周囲と同化して120cm 深部に分布する。
133	05		Gp	2.5YR 6/2 灰褐	✓	B	β	2				CM ✓	90~3% 暗緑色の緑泥石斑点あり。全体の緑泥石化の細物等の変質実情が、緑泥石化の分布は既述。
	133.09												132.41 ~ 134.53 m: CM 粘片は既述の如く。一部で粘片層の低い中層斜晶の分布。φ30mm 前後の粘片の分布。粘片化の分布は既述。
134	05		Gp	2.5YR 6/2 灰褐	✓	B	β	2				CM ✓	130.75 ~ 130.90 m: 粘片は既述の如く。高角斜晶の、中層斜晶 0° ~ 20° 角の分布。片状の砂土質粘土あり。斜晶が互に薄く砂土質粘土に砂土質粘土あり。
	134.33												133.00 ~ 133.60 m 間は、粘片層の低い中層斜晶の分布。粘片化の分布は既述。
135	05		Gp	2.5YR 6/2 灰褐	✓	B	β	2				CH ✓	133.99 ~ 133.95 m: φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点に付く。石基が深緑色の。全体的に「緑泥石化」あり。(粘片層あり)
	134.92												132.41 ~ 134.53 m: CM 粘片は既述の如く。一部で粘片層の低い中層斜晶の分布。φ30mm 前後の粘片の分布。粘片化の分布は既述。
135	05		Gp	2.5YR 6/2 灰褐	✓	B	β	2				CH ✓	134.35 m: φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点に付く。石基が深緑色の。全体的に「緑泥石化」あり。(粘片層あり)
	134.92												134.33 ~ 139.66 m: CH 既述の塊状。粘片層の低い中層斜晶の分布。粘片化の分布は既述。

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (135 ~ 140)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質					
	0.5	135.65		2.5YR 7/2 明褐灰					28	16	<ul style="list-style-type: none"> 134.85 以降の日はコアに約10%前後の橙色の長石が混入している。 135.76 m. 割れ目は全長約5cm程度で割れ目の一部は細くして10 (5) と評価した。 136.09 m. 60°, 136.33 m. 65°, 136.56 m. 60° 前二者は厚さ1~2%の緑泥石状。後者は石英状の密着に分布。粘土化は中程度。 		
136													
	0.5		Gp	2.5YR 7/2 灰褐色	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	58	29	CH	<ul style="list-style-type: none"> 137.52 ~ 137.62 m. 晶洞中に石英、橙色の長石、緑泥石状の割れ目あり。
137													
	0.5												<ul style="list-style-type: none"> 138.35 m. 138.50 m. 中層割れ目11cm間隔に割れ目あり。
138										71	15		
	0.5												
139		139.02		2.5YR 6/1 緑灰						72	27		<ul style="list-style-type: none"> 139.02 ~ 139.21 m. 緑泥石状 = 緑泥色化あり。 139.27 m. 60° 厚さ2~3% 隙間は緑泥石と石英の混入(分布) 中1% 微細石英質の分布あり。
	0.5	139.21											
		139.66		2.5YR 7/2 灰褐色	×	×	×	×					<ul style="list-style-type: none"> 139.66 ~ 139.96 m: CM 割れ目10~50 μm 存在物は分布あり。
		139.96			✓ b	✓ IV	✓ B	β	2			CM	
140		140.00			×	×	×	×		52	52	CH	<ul style="list-style-type: none"> 139.96 ~ 140.39 m: CH

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 140 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
140	140.00		Gp	ス5GY 緑灰	✓	✓	✓	β	2		CH	<p>140.13 m 65割目より一部が割れ目あり、細化が顕著に 見られる。</p> <p>140.39 ~ 140.61 m : CM 20割目より一部が割れ目あり、割れ目には砂質がある。</p> <p>140.61 ~ 140.97 m : CH 変質・風化 一部が中層割目より密度が高くなる傾向が見られる。142- 9 層に割れ目あり、細化が見られる。</p> <p>141.40 ~ 142.00 m 42%前後の割れ目と塊状に緑泥石 化して塊状部を占める。</p> <p>141.70 m 4色で色調が少し変化あり。</p> <p>141.97 ~ 142.08 m : CM 割れ目より一部が割れ目あり。 色調が不均一で中層割目より密度が高くなる。 一部は割れ目割れ目と細化している。</p> <p>142.32 ~ 142.43 m 割れ目と変質が42~50%程度 に割れ目(2)の割れ目割れ目がある。</p> <p>142.70 ~ 142.76 m 塊状に緑泥石化して塊状部を占める。</p> <p>143.40 ~ 144.50 m 42%前後の割れ目と塊状に の下部割れ目より細化、割れ目割れ目は50~60% の割れ目割れ目部分がある。中層割れ目割れ目 の割れ目割れ目(2)の割れ目割れ目(2) (1)の割れ目割れ目(2)</p> <p>143.40 ~ 144.00 m 割れ目割れ目 20~20%程度 45°前後 割れ目割れ目 割れ目 割れ目割れ目(2)の割れ目割れ目(2)</p> <p>144.61 ~ 144.88 m 20~50%の中層割れ目より密度が高くなる。 割れ目割れ目割れ目。</p>	
	140.75			ス5YR 緑灰	✓	✓	✓	β	2		CH		
	140.59				X	✓	X	X	X				CM
	140.61				X	✓	X	X	X				CM
					X	✓	X	X	X				CM
141				ス5YR 7/2 緑灰						34	13		
	0.5				✓	✓	✓	β	2		CH		
	141.70												
	141.97				X	X	X	X		48	16		
	0.5			ス5YR 7/2 灰緑									
142					✓	✓	✓	β	2		CM		
	0.5												
	142.03			ス5GY 7/2 緑灰									
	143.31												
	0.5												
143													
	0.5												
	143.03												
	143.31												
	0.5												
144													
	0.5												
	143.03			ス5YR 7/2 灰緑									
	143.31												
	0.5												
145													
	0.5												
	143.03												
	143.31												
	0.5												

調査名		孔番・深度		観察日									
		47 B-3 (145 ~ 150)											
標尺 145 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
	0.5												
146				2.5YR 6/2 R ₆ 端	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 32	✓ 11	CM	<p>145.37 ~ 50割れ目以下厚さ15%から2~10%の細片化が新鮮な硬質、切片には見えない。</p> <p>146.20 ~ 50割れ目以下厚さ約10%で緑泥石化、碎塊を呈する。</p>
	0.5												
147	147.08		Gp		X	X	X	X		✓ 13	✓ 13		<p>146.56 ~ 147.08 60~70°の傾斜割れ目以下に各層の同割れ目化あり。各割れ目には粗粒化・新鮮な挟在物も分布する。</p> <p>147.08 ~ 150.59 m: CH 堅硬・塊状 同割れ目は層と層の間割れ目同様の、強固さの中層割れ目は周囲の同化（老層厚さが高く、ハマ割れ目も合流している） 各割れ目面には1%挟在物は分布せず、粗粒化・新鮮。</p>
	0.5												
148					✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 37	✓ 25	CH	<p>148.58 m 65割れ目以下厚さ1%緑泥石の固結粘土質を呈する。</p>
	0.5												
149	149.37			2.5YR 6/3 R ₆ 端						✓ 62	✓ 22		<p>149.20 ~ 149.36 m 割れ目以下厚さ約1%粗粒化・新鮮な挟在物を示す。</p>
	0.5												
150										✓ 52	✓ 11		

調査名

孔番・深度

H=7B-3 (150 m, 55)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 150 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分			
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質						
	0.5	150.59			b	III	B	β	2		CH	<p>150.04 ~ 150.59 m. 50~80° 厚 2~7% の片状の緑泥石が散在する。大半は周囲と同化し、同一割れ目化している。</p> <p>150.41 ~ 150.59 m. 緑泥石が厚さ 10% の硬質の層に厚く存在する。</p> <p>150.59 ~ 151.57 m: CM 20~40° と 70~80° 割れ目の交差により割れ目の密度が異なる。</p>		
	1.5	151.21		2.5GY 6/3 1:3.0 粘	b	IV	B	β	2	39	15	CM	<p>151.21 m. 25° 割れ目の一部で厚さ 2% の片状の緑泥石が散在する。</p> <p>151.50 ~ 151.52 m. 石英と暗緑石の結晶が非常に多い。</p>	
	0.5	151.57										CH	<p>151.57 ~ 152.23 m: CH 堅硬、塊状</p> <p>割れ目や片状の割れ目は 25% 程度に緑泥石が 10% の片状の割れ目の大半の密度が非常に高く、一部の層では非常に高い。一部は同化している。粘土の結晶は非常に多い。</p> <p>151.47 ~ 151.52 m. 緑泥石と石英の交代の硬化した層。</p>	
	0.5	152.23		2.5GY 5/1 緑泥						25	15		B	<p>152.23 ~ 153.05 m: B 堅硬、塊状の割れ目がある。割れ目存在地は分布する。割れ目や片状の割れ目の一部は割れ目に緑泥石が 10% 程度。</p> <p>152.50 ~ 152.67 m. 1:2 上下端に厚さ 10~20% の石英脈に囲まれた石英の結晶が非常に多い。石英と石英は同化して変化した。</p>
	0.5	152.65											CH	<p>153.20 m 付近に 10% と大型の褐色の片状の石英結晶が点在する。</p> <p>153.25 ~ 153.60 m. 60~80° と高角の結晶の片状の割れ目の大半の密度が非常に高く、同化している。</p>
	0.5	153.75		2.5GY 6/3 1:3.0 粘	b	II	B	β	2	20	43	B		
	0.5	153.85											CH	<p>153.85 ~ 154.60 m: CH 堅硬、塊状</p> <p>154.42 ~ 154.60 m. 緑泥石の交代の硬質の層。上部には割れ目の交差により片状の石英の結晶が非常に多い。石英と石英は同化して変化した。</p>
	0.5	154.42		2.5GY 6/3 緑泥						95	36		B	<p>154.60 ~ 154.80 m: B 堅硬、塊状の割れ目がある。</p> <p>154.25 (1:2) 厚さ 60~70° の高角の結晶の片状の割れ目の大半の密度が非常に高く、一部の層では非常に高い。</p>
	0.5	154.60		2.5GY 6/3 1:3.0 粘	b	II	B	β	2					
	0.5	154.80								43	21			

調査名		孔番・深度		観察日									
標尺 155 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
155												・155.25m: 70°~80°割れ目の交差部一部が割れ目から 剥離した(方位不明)。 ・156.77~156.80m 一部に緑泥石化(φ30μm)の斑 状に緑泥石化する。軽代は伴わない。 ・156.80~156.14m 白色筋状の中層割れ目の一部が剥離 した状態の層を認める。 156.18~159.24m: CH 短硬、塊状。一部にφ20cm以上の柱状節理を認 める。長210~20cm(Ⅲ)が主体。 割れ目中 中層割れ目の一部に緑泥石化(φ20μm)を認める。 ・156.50~156.90m 割れ目の交差部一部に片状化節理の 存在物は分布する。 ・157.00m 以降は 20~40°割れ目の主体 ・157.35~157.89m 剥離した石基も緑泥石化し 緑泥化を帯びる。 ・157.83~157.89m 30°程度のφ2~3μmの増殖性結晶の緑 泥石化の弱い副産物に由来する。 ・158.20~158.30m φ10μm前後の大型副産物の存在。 ・158.54m と 158.62m に 70~80° 厚1~2μm の石英結晶で 緑泥石化した層が分布。少量で、分散している。 ・158.54m 以降は 石基も含む緑泥石化の進行 した暗緑灰色を呈する。軽代は伴わない。暗緑色である。	
156	156.18			X	X	X	X	78	30	B			
157			Gp	25YR 6/3 (R)暗緑	b	Ⅲ	B	β	2	28	16	CH	
158								53	26				
159	158.54			2.5Y 4/1 暗緑灰									
160	159.24				X	X	X	61	32				
					b	Ⅱ	B	β	2			B	
								93	52				

標尺 160 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	160.32 160.49			2.5GY 4/1 暗緑色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	・159.45m・60" 割れ目(2層) + 変質部(55%) 割れ目(4層) あり。 (割れ目変位量 2mm 程度)。
0.5				2.5YR 6/4 灰緑色	X	X	X	X	X				160.40~162.57m: CH 堅硬、塊状。上位に比し、中・割れ目が多い。割れ目挟持 物分布(Fe)。
161	161.10 161.24			2.5GY 4/1 緑色	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 45	✓ 22		・161.10~161.69m φ50%前後の大型の暗緑色・緑色 石英斑岩に含む。この区、上位部の161.10~161. 24"は石英斑岩を主体に緑泥石の過剰、緑泥石の 多量。
0.5	161.45			2.5YR 6/2 灰褐	✓ b	✓ III	✓ B	β	2			CH	・161.70~161.90" 割れ目変位部。一部は片状化が0°。 薄片は堅硬で、粘土状砂石の多量。
162	162.26 162.47 162.65		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	X	X	X	X	X	✓ 26	✓ 13		・162.12~162.18" φ10%前後の大型の褐色の石英 斑岩あり。
0.5				2.5YR 5/2 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 68	✓ 35		・162.46~162.57m φ0~90°の割れ目 5~50%前後で 平行分布。割れ目幅は0.5~1.0mm程度あり。
163	163.00 163.10 163.20			2.5YR 5/2 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2			B	162.57~166.65m: B 堅硬、塊状で、長さ20cm以上の長柱状の結晶 一部は厚さ2mmの節理状の割れ目が発達。割 裂度は高く、ハニシの割れ目も発達する。 割れ目には石英と粘土質の充填物が多い。 褐色の石英斑岩の層状部も含まれ、この部分では色調が 褐色系(2.5YR 5/2)となる。 緑泥石化は割れ目中や割れ目には石英と粘土質の φ2~5mmの斑岩状の結晶と粘土質(2層)。 ・163.50~163.60" 高角部割れ目変位部。一部は片状化が0° 薄片は堅硬で、粘土状砂石の多量。面の一部は黄鉄 鉱の結晶(2層)。
0.5	164.00 164.10 164.20			2.5YR 6/4 灰緑色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 73	✓ 37		・164.00~164.30m φ10%と大型の褐色の石英斑岩と同様に、緑泥 色の緑泥石も混在する。
164	164.50 164.60 164.70			2.5YR 6/4 灰緑色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2			B	・164.50m φ50% 緑泥石結晶。石英斑岩の二次鉱物も 発達する。
0.5	164.95			2.5YR 6/4 灰緑色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 100	✓ 25		・164.95" φ50% 密着割れ目と割れ目に厚さ20%の石英斑岩 緑泥石を伴って分布。上部境界は堅硬。

2.5YR 6/4 灰緑色 166.55

調査名		孔番・深度		観察日								
		H>7 B-3 (165 ~ 170)										
標尺 165 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	05			25YR 6/4 灰緑								164.75 ~ 165.89m. 褐色の片石が含有の上下に比べ多く、発露も褐色系(灰緑)を呈す。
	165.89											165.32m. 70°割れ目は165.32mで87%の褐色の片石を割断する。その交差する割れ目の一部のみで(異相)・交差は200μmを越す。本割れ目面には発露も認められる。
166	05	166.51		25YR 6/2 灰緑						98	46	165.80 ~ 166.10m. 10~20%の石英が多数晶出(一部は地形の緩衝型を示す)の熱水変質で緑泥石化・黄鉄鉱晶出の二次石英である。
		166.75		25YR 5/1 褐灰	X	X	X	X				166.44 ~ 166.97m. 10%斑状 ~ 長20-30%・幅5%の石英が多数晶出。
167	05	167.00	Gp	25YR 5/1 褐灰	X	X	X	X		77	63	166.65 ~ 167.21m: CH 一部に割れ目が多い。岩片が堅硬で、割れ目の中での塊状物は分布する。 167.00mより深いには緑泥石化の進行、暗緑灰色を呈す。
		167.21		25YR 5/1 暗緑灰	X	X	X	X				167.21 ~ 167.55m: CM 節理状の割れ目が多い。岩片が硬く、割れ目の中での塊状物は分布する。
	05	167.55		25YR 6/2 灰緑	X	X	X	X				167.55 ~ 169.66m: CH 堅硬、塊状で、37% 20cm以上の割れ目。10~20cmの柱状の塊状物。 節理状の割れ目が多い。割れ目の中での塊状物は分布する。暗緑灰色を呈す。
168	05	169.40								36	21	節理状の割れ目が多い。割れ目の中での塊状物は分布する。暗緑灰色を呈す。 割れ目には粘土、27%の塊状物は分布する。一部で緑泥石化や黄鉄鉱晶出が認められる。
		169.70										
169	05	169.19		25YR 4/1 暗緑灰	X	X	X	X				169.19 ~ 169.41m. 緑泥石化の進行(暗緑灰色化)が認められる。軟化は伴わない。
		169.21										
	05	169.66		25YR 6/2 灰緑	X	X	X	X				169.50mより深部で2~3%の緑泥石化の斑状晶出が認められる。
										69	25	169.66 ~ 172.69m: B 堅硬、塊状で割れ目が少ない。 一部に節理状の割れ目が多い。割れ目の中での塊状物は分布する。
170										43	18	

調査名		孔番・深度		観察日									
		H27 B-3 (170 ~ 175)											
標尺 170 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
170			Gp	ス+YR 1/2 灰褐								<p>169.67 ~ 170.22 m. ϕ 2~3% の暗緑灰色緑泥石の斑点状に多量に晶出。</p> <p>170.20 ~ 170.65 m. 60~70° の中層割れ目から該層下部70% 密着度が高く、ハニの造りでも分離しない。</p> <p>171.00 ~ 171.08 m. ϕ 10% の大型の橙色の片晶石の晶出。点状に。</p> <p>171.29 m. 割れ目・交差部・交差部同様に片状化している。</p> <p>171.25 m. 割れ目・交差部・交差部同様に片状化している。</p> <p>172.32 ~ 172.53 m. ϕ 2~3% の暗緑色の緑泥石の ϕ 幅 25~1% 石英割れ目等、斑点状に晶出。点状に。</p> <p>172.69 ~ 174.13 m: CH <u>塊状</u> 堅硬、塊状で一部割れ目交差部で長20cm以上の柱状コア主体。 一部に緑泥石化し、割れ目中層割れ目をなして細粒状に ϕ 1~3% の斑点状に晶出している。割れ目面では可動性は低くない。細粒部は石英割れ目等がある。</p> <p>173.66 ~ 174.73 m. 密着度の低い中層割れ目 10~20% 間隙に分布。ハニの造りでも分離・細片化等して晶出の石を塊状に分布している。</p> <p>173.93 m. 43° 割れ目は ϕ 5% の橙色の片晶石を20~22%。</p> <p>174.13 ~ 175.55 m: B 堅硬、塊状で一部割れ目交差部で長20cm以上の柱状コア主体。 一部に白色の細粒の中層割れ目を含む。密着度は高く、ハニの造りでも分離しない。 上位側には緑泥石化が認められる。</p>	
	170.74 (準4割れ目)			ス+YR 5/1 褐灰					91	77			
0.5													
171													
	171.75												
0.5													
172					ス+YR 1/2 灰褐	b	II	B	β	2			B
									87	49			
0.5													
173													
	172.69												
	172.86												
0.5				ス+YR 1/3 灰褐	b	III	B	β	2		CH		
								62	37				
174													
	173.83												
	174.13												
0.5				ス+YR 1/1 褐灰	b	II	B	β	2		B		
								58	28				
175													
								100	62				

調査名		孔番・深度		観察日											
		H27 B-3 (175 ~ 180)													
標尺 175 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					ROD	
175	05	175.35	Gp	ZSYR 6/1 褐灰	✓	✓	✓	✓	2	✓	✓	B _V	175.15 ~ 175.22 m. 割れ目・変質・片状化等の岩片は 2枚あり。割れ目面には塊状物は含まれない。		
176	05	176.50			✓	✓	✓	✓	2	✓	✓	✓	C _H	175.55 ~ 176.50 m: CH 堅硬、上下径は比→P。割れ目径500。コア長10cm-20cm (Ⅲ)の主成分。中層割れ目を含む。大半は密着度が高く ハニの割れ目等を含む。	
177	05	177.78			ZSYR 7/1 R6V	✓	✓	✓	✓	2	✓	✓	✓	C _M	175.71 ~ 176.78 m: CM 割れ目・変質・短柱状の一部岩片が少量。 175.59 ~ 175.62 mは30°割れ目(Ⅲ)風化(D)・砂状 粘土状部は12枚ある。
178	05	178.65			ZSYR 6/1 褐灰	✓	✓	✓	✓	2	✓	✓	✓	B _V	176.78 ~ 177.15 m: B 堅硬、塊状でコア長20cm以上の構造物はP主体。 一部に含砂。中層割れ目も密着度が高く、ハニの割れ目等 を含む。 上下径は比→P。割れ目径200。暗緑圧色斑点状 厚さ0.5%の鉄鉱石が分布する。割れ目の数は大半が周囲に 密着し、同径になる。
179	05	179.75			ZSYR 6/1 褐灰	✓	✓	✓	✓	2	✓	✓	✓	B _V	177.65 m. 350. 厚さ2~3%の鉄鉱石が分布。周囲に同径になる。 177.83 ~ 178.27 m. 同径は5~10%と大層で暗緑色。0.9 長石が露出・点状部。 178.31 ~ 178.39 m. 上端75°、下端70°割れ目に同径は95% 10%は斜角化(Ⅲ)。厚さ25%で1枚層状化が分布する。 上端面は鉄鉱石の点状に介在する。
180	05	180.00		✓	✓	✓	✓	2	✓	✓	✓	C _H	178.45 m以下には中層割れ目500あり。密着度が高く、ハニ 割れ目等を含む。 179.15 ~ 180.00 m: (4) 179.37 ~ 179.68 mの間の一部は割れ目変質部で片状化が20% 岩片は堅硬で面は未風化・未変質で現在地質が分布する。 一部は斜角に鉄鉱石の点状に介在する程度。 中層割れ目の多くは斜角に同径割れ目化している。		

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27B-4					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				火山灰物 土壌化石 木片			
0	0.22			○ r /// ○ =	砕石	10R 3/4 黒	φ5~50mmの角砕石より成る。岩種は砂質頁岩。
1					礫 混 じ り 砂 (盛土)	10R 2/3 明 黄 褐	φ2~20mm程度の礫(角礫~虫目礫)を含む。 ~φ100mm 基層は褐色時に帯びた堆砂が主体。 0.22~1.00m内は比較的礫分含量高。 総じて深くコアは指圧で容易に凹む。
2							
3	3.10				砂質 礫 (盛土)	10R 2/3 明 黄 褐	礫分が多くなる。礫種は花崗岩類、アーク その他異石の砂質頁岩やコンクリート片を混じえる。 φ10~100mmの角礫~虫目礫が多い。 3.30~3.58mコンクリート片 3.00~4.00mこの間基層は流失済み。
4							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		H27B-4				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			<small>火山灰物</small> <small>土質礫石</small> <small>貝化石</small> <small>木片</small>	<small>○ r</small> <small>///</small> <small>□</small>		
4.00				砂質礫(盛土)	明黄	4.00~8.00 花崗岩、花崗斑岩、アプライト等の花崗岩類の礫も多く含む。地、黒灰色の砂質頁岩礫を少量含む。角礫へ歪角礫が主体で礫径は ϕ 10~50mmが多く max ϕ 90mm 基質は細礫+粗砂。
5				砂混じり砂(盛土)	黄	5.73~6.00m 基質はチチ流失せり。
6	6.30			砂(AP) (盛土)	黄	6.30~7.00m 砂(粗砂)が主体となる。花崗岩類の ϕ 5~20mmの角礫を含む。その他少量の ϕ 10mm以下の更なる角礫を含む。上位の盛土に較べて、よく砕けている。
7	7.00			砂(盛土)	明黄	7.00~7.45m Apの巨礫、頁岩の褶摺岩片を含む。 不明瞭
	7.45			砂(盛土)	明黄	7.45~7.70m 砂・粗砂を含む砂(粗砂)
8	8.00			砂(盛土)	黄	7.70~8.00m 花崗岩類の粗~中礫が主体。粘り、粗砂を含む。

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ○ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
 境界 明瞭—— 不明瞭----- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番	H24B-4	観察日			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ 火山灰物 土質 土具 木片	マーカ ○ r /// θ ○	地質名	色調	堆積構造・特徴等
8.00	8	8.20	(土)	(土)	砂	明	<p>8.00~8.20 砂(粗砂)が主成分</p> <p>8.20~ 花崗岩類のφ10~50mmの角~角角礫が主成分。下部にはApが主成分。 mmφ90mm。 少量の黒灰色の頁岩礫が散在する。</p>
9			(土)	(土)	砂	明	<p>10.15に葉分炭化した長さ100mmの木片を含む。</p>
10			(土)	(土)	砂	明	<p>11.03~11.12 含有礫は総じて小さく中礫以下。</p>
11			(土)	(土)	砂	明	
12			(土)	(土)	砂	明	

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ○ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭—— 不明瞭----- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日
		H27B-4	
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	マーカ- 火山灰物 土貝化石 木片
12		スケッチ	○ r // θ □
13		地質名	色調
14		堆積構造・特徴等	
15		12.05~12.20 Gpの文礫 12.04 木片混じり 12.51~12.63 炭化化した木片混じり	10% 明 黄 褐
16		13.65~13.75 木片混じり。13.75付近の色は含礫 で、明らかにこれより上位は人工地盤である。	Gp

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名

孔番・深度

H27B-4 (13.75 ~ 15.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
13			盛土									
	13.75		↑									
14	14.00		GP	10YR 7/3 に 3.5 い 黄 橙	0	0	0	0	0	0	0	0
	14.67											
15	15.00											

盛土
↑

13.75 ~ 14.67 風化が著しく割れ目の多くは不鮮明となる

14.00 付近 割れ目には、石マンガン等の汚染が顕著

14.50 付近 頁岩破片、上部からの崩壊物と思われる

14.67 ~ 同には若干軽微なほう割れ目が見られるが、認識できない程度に割れ目、断面で脆し、割れ目に沿って変質脈が白く見られるものがある。

調査名

孔番・深度

H27B-4 (15~20)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
15	15.15		GP	5YR 7/3 C ₁ 橙								15.00~15.49 但角度の割れ目が優勢 同化により 割れ目沿いは劣化。不少~シルト状の粗粒物が見られ、 コアも軟質である。 15.52~15.66 砂状コア。多くは上部コアの崩壊物とされる。 15.66~15.91 割れ目沿いの劣化著しく脆弱
	15.66			2.5YR 7/6 C ₁ 橙								
	15.89			10YR 8/6 明黄橙								
	15.91			15.91								
	15.91			15.91								
16	16.49		GP	2.5Y 8/3 赤黄				8	3			15.91~16.36 石破砕帯である。全体にマコウで汚染される。 15.91m 土盤 72° 緑灰色の粘土がやや透曲したものが厚さ 2~3cmで見られる。 16.36~16.52 下盤 76° 灰白色の変質粘土が厚さ2.5cm程度 生じている。 16.52~16.85 土位と破砕帯と同化の影響で劣化が著しい。 16.85~17.03 割れ目沿いの劣化は距離の一部破砕砂状 となる。 17.03~17.66 但角度の割れ目が優勢 割れ目沿いの劣化が 著しく、コアも軟質で表面はサツク。
	16.85			10YR 8/6 黄橙								
	17.66			17.66								
17	17.66		GP	2.5YR 8/6 黄橙								17.66~18.00 コア表面のサツクきは無分軽微。 18.00~18.52 但角度の微細な割れ目が非常に多い。
	18.00			18.00								
	18.52			18.52								
18	18.52		GP	2.5YR 8/6 黄橙								18.52~20.00 斜層石の風化し理帯と相、石粒状の大型 の破砕物が目立つ。
	18.85			18.85								
	19.08			19.08								
19	19.08		GP	5YR 8/5 黄橙								19.59~19.76 割れ目コアが主である。
	19.57			19.57								
	19.76			19.76								
20	19.97											

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化	変質				
20				10YR 8/3									20.02m 付道 20.02m 小相模川破砕帯(変質帯) 厚10~20cm 50° 20.02m 小相模川破砕帯(変質帯) 厚10~40cm 角度30° 20.20~20.30 粗相模川に一部粗砕状となる。 20.50~20.55, 20.80~20.90 礫状となる。
21	21.30			淡橙	C	D	8	3		0	5		21.70~21.80 微細な割れ目に沿ってマンガン浸染が 明瞭 21.80~22.40 割れ目に沿ってマンガンが浸染を呈する へ？変化する
22	21.85 22.18 22.31 22.38		GP		B C		8		11	11		21.85 21.85	22.40~22.50 礫状コア。一部は上部からの破砕物 が含まれていると思われる。
23	22.89 23.38				C	D				0	7		23.50m コアは粗粒となり表面はサラツク
24						D	8			0	5		24.10~24.50 溶下したコアを同採取区に認められる。
25	24.55		流床							0	5		

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27B-U (25 ~ 30)										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化
25			泥 矢									
	25.48											
26	25.96			10R 9/3 淡 橙	√ C	√ C	6	3	18	18	X	25.96 ~ 26.19 コアは砂層と炭層のガラツキの交わり
	26.19				√ C	√ C						26.00 ~ 26.40 割れ目35度の角化が明瞭、コアも同じお取 柄である
	26.30				√ C	√ C						
	26.48				√ C	√ C						
27	26.96				√ C	√ C			28	14		26.96 ~ 27.22 岩層が砂層で脆弱である
	27.22		GP		√ C	√ C						27.22 前断性の割れ目、変質もわかり上盤側は 斜交角で幅20mm程度、角40° N7E, 64W
	27.38				√ C	√ C						
	27.80				√ C	√ C						27.95 ~ 28.00 前断性の割れ目が局所的に集中し脆弱 である
28	28.24				√ C	√ C						28.24 低角度で幅10mm程度の斜交角となり、上下盤は 70°
	28.55				√ C	√ C						
29	29.25				√ C	√ C						29.48 ~ 29.91 微細な割れ目が華やしのコアは取 れやす。29.59 ~ 29.60 微細な割れ目1mm程度に汚泥が 入る。29.60 ~ 29.90 前断性の割れ目が華やきの 29.94 ~ 29.98 微小規模の破砕帯、上盤70°角を伴った 下盤67°角のマカン汚泥顕著、上盤側は幅10mm程度で 変質を伴う。
	29.48			5R 7/6	√ C	√ C						
	29.59			橙	√ C	√ C						
30	30.00				√ C	√ C						

調査名

孔番・深度

H27B-4 (30 ~ 35)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
30	30.03			5YR7/4		✓					<p>30.10 ~ 30.69 低角度の割れ目が優勢である。</p> <p>30.62 ~ 30.82 この間、かなり規則的な形状の高角度の割れ目が2条見られ、マカマカが3~5cmの厚さで析出している。</p>
	30.29										
	31			10YR8/2		✓			26	13	
	31.97										
	31.92										
	32										
	32.34								12	12	
	32.46										
	32.67										
	32.86										
33	33.61										<p>33.26 ~ 33.39 50~90°程度の層状性節理が平行して集中する。</p> <p>33.68 ~ 33.82 20°程度の節理がほぼ平行して集中する。緑い石の薄い層が3条見られる。</p> <p>33.80 ~ 33.82 30~50°の割れ目が優勢、割れ目と並って明瞭な角化が見られることが多い。</p>
	34			5YR7/4							
	34.00								27	17	
	34.11										
35	34.42										<p>34.30 ~ 34.42 割れ目が集中し層状~片状に平行して人差の？</p> <p>34.56 付近、局所的(並行)に低角度で破碎された細粒状の石。</p>
	34.64										
	34.79										
	35										
	35.22								22	12	

調査名

孔番・深度

H27B-4 (35 ~ 40)

観察日

標尺

深度

境界・亀裂位置

地質名

色調

割れ目状態

コアの形状

コアの硬さ

風化

変質

ROD

最大コア長

岩級区分

破碎度区分

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

35

35.22

35.60

35.78

36

37

37.56

37.98

38.09

38.27

38.54

38.96

39

39.40

39.50

39.84

39.94

40

H27B

GP

10

30

11

橙

39.50

25Y7/4

浅

黄

V

C

V

D

C

C

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

V

3

14

14

10

10

28

58

28

56

22

39

15

CL

CL

CH

CH

CH

CH

CM

CL

CM

CL

35.60 ~ 35.78 任意の方向に平行した割れ目が集積した隙間となる。割れ目沿いに白色の鉱物脈が認められる。
35.78 付近 垂直割れ目の局所的に受け壊れ状となる

36.14 ~ 36.32 20mm 割れ目が 10mm 程度となる

36.98 ~ 37.10 高角度の割れ目に沿って岩化する。厚さ10mm 程度の細粒～砂状となる

37.20 ~ 37.25 割れ目に沿って厚さ4mm の暗褐色のシルト～砂が挟まる(流入?)

37.36 ~ 37.78 割れ目の沿線は明確であるが挟在物は見られない

38.08 ~ 38.96 挟在物が見られる割れ目沿、38.50 の高角度の割れ目が1本のみ

38.96 ~ 39.40 割れ目は沿って岩化するものが多い

39.21 ~ 39.40 ~ 39.45 割れ目沿いに岩化し、幅10mm 程度の砂～細粒状となる

調査名

孔番・深度

H27B-4 (40~45)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ			
40	40.11			25Y7/4						
	40.58			浅黄						
	40.64									
	40.83			5YR7/4						
	41.20									
	41.37									
	41.47									
	41.57									
	41.80									
	41.91									
42	42.12		GP							
	42.25									
	42.35									
	42.64									
	43.05									
	43.25									
43	43.54									
	43.65									
	43.80									
	43.85									
44	44.21									
	44.55									
	44.55									
45	45.21									
	45.21									

40.64 ~ 40.83 割れ目が卓越し、割れ目沿いの劣化が明瞭。砂~粗粒になる所が多い。割れ目沿いに変質している。

40.83 ~ 41.00 割れ目沿い劣化、角礫状になる。

41.00 ~ 41.20 但角度と高角度の割れ目が交叉し、扁平状となる。割れ目沿いの劣化が見られるものが多い。

41.30 ~ 41.47 ほぼ平行な割れ目が集中、割れ目沿いの劣化が明瞭で脆弱。

41.80 ~ 41.91 割れ目沿いの劣化が顕著で非常に脆弱である。

42.12 ~ 42.25 割れ目と沿った劣化が顕著。一部固結した石少状となる。粘土質。鏡面なし。

42.35 25°の割れ目に厚さ2~3mmのマンガン様皮
42.38 ~ 42.46 局所的に固結した石に岩片が混入。褐色汚染と明瞭。

43.05 節断破砕をこの小規模に受ける。角度32°幅10mm。上盤は石英脈を伴う。下盤は粘土2mm。
43.06 ~ 43.15 岩片状コア。(入蓋のたごのさ含)

43.54 ~ 43.65 変質及び同化が脆弱と成る。43.63 白色の寄層状。粘土化は2.1%の軟質

44.20 ~ 44.30 但角度の割れ目が卓越し、コアも軟質と成る。表面はサラツク。

44.40 42°の割れ目と沿った褐色汚染。周辺は、絹雲母と白鉄鉱(黄鉄鉱の分解途中)が散在している。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化				
45						✓ V	✓ C					<p>45.10 節理の節理 上盤側は一部 0.2m 脆弱となる。絹雲母が散在している。</p> <p>45.40 ~ 45.62 微細な割れ目が集まり、コアの取手で表面がざらつく傾向が多い。</p> <p>45.70 ~ 45.80 割れ目沿いに岩化し 碎粒状の砂状となる。</p>
	45.42					✓ V	✓ D				✓ CL	
	45.62					✓ V	✓ C					
46	46.00							✓ 0	✓ 8			<p>46.10 ~ 46.35 60° 70° の割れ目が集中する。挟持物の見られる割れ目もあるが、汚染はほとんど見られない。</p>
	46.10				5R 7/4		✓ B				✓ CM	
	46.28					✓ V	✓ C				✓ CL	
47	47.11					✓ C	✓ B					<p>47.11 ~ 47.32 微細な割れ目が網目状となり、割れ目沿いの岩化が見られ軟質、脆弱となる。</p> <p>47.36 ~ 47.53 高角度と低角度の割れ目が交差し格子状となる。割れ目の節理は見られるが、砂状の挟持物が見られる。</p> <p>47.56 ~ 47.76 微細な割れ目が卓越し、脆弱となる。47.76 ~ 47.88 同様に、割れ目沿いのマシアン汚染が顕著。</p>
	47.32				3.1	✓ C	✓ B				✓ CM	
	47.53					✓ V	✓ C				✓ CL	
48	47.76							✓ 10	✓ 10			<p>48.30 破砕帯 上盤 52° 下盤 45° 幅 20cm 程度 時々見られる</p>
	48.11				GP 橙						✓ CM	
	48.32					✓ V	✓ C				✓ CL	
49	48.53					✓ V	✓ D					<p>49.10 節理の節理 60° 上盤傾幅 20cm 程度 脆弱となる</p> <p>49.40 白色の絹雲母の風化に伴って軟質傾向 40° 角度 40°</p>
	48.76							✓ 0	✓ 9			
	48.96										✓ CL	
50	49.11							✓ 0	✓ 5			<p>49.10 節理の節理 60° 上盤傾幅 20cm 程度 脆弱となる</p> <p>49.40 白色の絹雲母の風化に伴って軟質傾向 40° 角度 40°</p>
	49.32					✓ V	✓ C				✓ CL	
50								✓ 21	✓ 11			

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27B-4 (50~55)										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
50												50.0? 70°の向口割れ目とマニカン層との折れ
	50.39				IV	C				CL		39 50.45~50.60 劣化したコア層の取戻。周囲は砂状と成るが ある。取戻脆弱
	50.60				VI	E				D		50.58~50.92 白色結晶が不規則に入る。
51	50.99				IV				6	6		51.20 51.43 微細な割れ目が垂直に直交状と成る 割れ目と並んで深い排色線(カキ岩)が用いられる所がある。
	51.48			51R 7/8 に 3.1 橙	V	C						51.66 51.92 微細な割れ目が非常に垂直(30~50) コアは軟 層と成る。
	51.86				IV							51.90 45°の割れ目と並んで高層に白色結晶の層と成る 汚色はほぼ明瞭。
52	51.99		GP						11	11		52.48~52.62 微細な割れ目が垂直。コアは局所的に破碎 と成る。上層側の割れ目と並んで4.0のマニカン層と成る
	52.30				C	V	C	3		CL		52.44~52.58 低層側の割れ目が垂直。割れ目と並んで汚色 汚層は軽微と成る
	52.88								0	6		53.54 53.59 割れ目と並んで劣化した明瞭で、コアの一部は粗砂 と成る
53	53.54											53.60 高層側の割れ目と並んで劣化した一部は粗砂と成る
	54.01								0	4		54.46~54.73 50~60°のほぼ平行な割れ目と並んで劣化した一部 粗砂と成る。汚色は汚色と成る。
54	54.13			54.13 10R 7/8 明 黄 橙	IV	C						
	54.55											
	54.92			54.92 51R 7/8 に 5.1 橙	IV							
55									0	9		

調査名

孔番・深度

H27B-4 (55~60)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩紋区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化				
55	55.64										55.76 ~ 55.54 低角度の割れ目が非常に多い	
	55.70										55.64 ~ 55.50 50°の割れ目同様に厚さ3mmで砂が挟まっている 他は33%と44%である	
56	56.06											
	56.41											
	56.45										56.45 ~ 56.61 高角度と低角度の割れ目が交差し、変質状と 同3	
	56.74										56.74 ~ 57.00 70°の割れ目に褐色粘土厚さ3mm 挟在	
	57.09										57.00 ~ 57.05 57.50°の1918°平行して微細な割れ目が 多い。一部は粘土コアと同3	
57	57.41										57.24 ~ 57.50 20°向 多くの割れ目に褐色泥層が挟在	
	57.54										57.54 ~ 57.74 割れ目沿いに劣化。軟層 脆弱。	
	57.91											
58	58.06										58.06 ~ 58.07 砂状の塊状物が見られる割れ目が多い 劣化は弱い。	
	58.24											
	58.71											
59	59.02										59.02 ~ 59.34 潜花崗岩の正片岩。割れ目の粗い粒状で 劣化は弱い	
	59.34											
	59.52											
60												

調査名

孔番・深度 H27B-4 (60 ~ 65)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化				
60	60.07											
	60.05			5YR 7/5		√ D						60.07 ~ 60.05m 微細な割れ目が卓越し、コアは軟質と見る。割れ目沿いにコア表面は凹凸所が多く、サラツク。
	60.82			10		√ C						60.45 ~ 60.82m 傾斜角の平行に上り割れ目が卓越。割れ目沿いに赤褐色斑が明瞭。
61	61.22		GP	5	√			√ 0	√ 4			60.82 ~ 61.22m 微細な割れ目が卓越。コアは軟質と判断。特に 61.40m 61.78m 間は劣化が顕著。
	61.72			控	√ C	√ D						61.22 ~ 62.36m コアは若干不規則だが、不規則の微細な割れ目が非常に卓越する。
	61.72				√ C	√ D		√ 0	√ 3			コアは軟質と見る。表面がサラツク。
62	62.36					√ C		√ 0	√ 3			62.36 ~ 63.25m コアは軟質と見る。表面がサラツク。傾斜角がやや優性な不規則の微細な割れ目が卓越する。
	62.56					√ D		√ 0	√ 5			62.56m 層状性割れ目(節理) 幅 10mm 左右 緑色土を帯び、赤褐色斑が明瞭。
63	63.25											63.25 ~ 63.62m 劣化した傾斜角軟質。割れ目と層状性との区別は不明。
	63.62					√ C						63.62 ~ 63.90m 劣化した軟質。傾斜角の割れ目は、層状性との区別は不明。
	63.90			10YR 8/8 黄橙	√ C	√ C		√ 0	√ 6			63.90 ~ 63.90m 劣化した軟質。傾斜角の割れ目は、層状性との区別は不明。
64	64.91			5YR 7/5 10 5 控	√ C	√ D						63.90 ~ 64.91m 劣化した軟質。傾斜角の割れ目は、層状性との区別は不明。
	64.65				√ C	√ D						64.65 ~ 64.91m 不規則な割れ目。傾斜角の割れ目は、層状性との区別は不明。
	64.91				√ C	√ D						64.91 ~ 65.00m 劣化した軟質。傾斜角の割れ目は、層状性との区別は不明。
65	65.00					√ D		√ 0	√ 4			

調査名

孔番・深度

H27B-4 (65 ~ 70)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
65													65.59 ~ 65.72. 不規則割れ目、砂入破砕状。 65.59 ~ 65.72 5割 65.72 ~ 67.28 部分的に灰白色粘土2~3mm 明瞭な割れ目なし
66	66.30			75YR 6/1 赤	C	T	D			0	3	CL	~ 66.30 割れ目が単純な片状で、割れ目汚染は 見られない。 66.30 ~ 67.28 割れ目沿いに褐色泥層が見られる。特に 66.80 ~ 66.95 の60~70°の高角度の割れ目沿いに泥層
67	67.28		Gp	10YR 6/2 灰 黄						0	3	D	67.28 ~ 67.28 割れ目が交叉し、細かい泥層状となる。 67.28 ~ 67.75 泥層部。粒度が粗く、粘土成分を 含む。割れ目は不明瞭となる。粘土に浸透。
68	67.75			5YR 8/2 白	D	T	E			0	3	D	68.00 ~ 割れ目が単純な片状で、割れ目汚染は 見られない。 68.20 30°の割れ目、黄褐色粘土層との境界は 不明瞭。
69	68.97			5YR 8/3 白 黄	C	T	D			0	3	CL	69.00 ~ 69.08 割れ目沿いに粘土層が見られる。 69.08 ~ 69.28 割れ目沿いに粘土層が見られる。 69.28 ~ 69.75 高角度と低角度の割れ目が交叉、高角度の割れ目 沿いには粘土が明瞭
70										0	3	CL	69.85 ~ 70.00 割れ目単純、片状コア

調査名		孔番・深度		H27B-4 (70~75)		観察日						
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
70	70.00				▽	▽						70.00付近 60°幅±0mmで層状的に弱く破碎され脆弱となる。
	70.20				▽	▽						
	70.40				▽	▽						
	70.60				▽	▽						
	70.80				▽	▽						
71	71.25				▽	▽			0	9		71.25 60°, 71.25 54° 崩断性・割れ目(節理), この間, 幅 20~30mm 脆弱となる。 71.25 ~ 70.25 この間+地層でコア表面はサラつく。
	71.50				▽	▽						
72	72.00		GP	浅	▽	▽			0	5		72.00 32° 割れ目内に, 一見腐植土のようだがマニガンに汚染された細粒物と破砕物と見られる暗緑灰色の固い砂状のものを採る。厚さ 8~15mm。
	72.50			橙	▽	▽						
73	73.00				▽	▽						73.50 65° 割れ目と暗褐色と汚泥色の泥状の砂を 4~10mm 採る
	73.50				▽	▽						
74	74.00				▽	▽			0	8		74.16 ~ 74.34 30°~50° 割れ目が密集する, 脆弱
	74.34				▽	▽						
75					▽	▽			0	7		

40

調査名		孔番・深度		観察日		基盤岩コア観察カード						
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
(m)	(m)											
75				57R ^{9/4}								05 25.75~25.79 20~40°の但角度の割れ目あり。ほぼ平行して卓越する
76	25.77		Gp	淡					0	6		25.77~26.25 割れ目沿いに劣化が見られ。やや脆弱とわかる。
	26.25											
	26.29											
	26.60			橙								
77									0	8		27.48~27.67 割れ目。特に低角度のもの沿いに劣化が見られ。コアは軟質となりザラつく。
	27.48											
	27.67											
	27.78											
	27.94											
78									0	6		27.96~28.08 割れ目に沿って劣化が見られ。石状の塊状部が明確。
	28.08											
	28.21											
	28.31											
	28.90											
79									13	13		28.21~28.51 20°程度の割れ目が見られ。やや脆弱。
	29.03											
	29.23											
	29.67											
	29.83											
80									14	14		29.45~29.52 マンガの短い筋状の浮き床が多故見られ。高角度のものが多い。この筋上に割れ目として認識できるものは少ない。
	29.83											

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分							
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化					変質	ROD				
80	80.13		淡	5YR 7/6	N	D				CM	✓	80.13						
	80.29	✓											C	✓	✓	✓	✓	80.51
	80.51																	
81	81.02		橙	✓	✓	C			CL	✓	81.02							
	81.30	✓										B	✓	✓	✓	✓	81.30	
	81.76																	✓
82	81.96		淡	5YR 7/5	✓	C			CM	✓	81.96							
	82.23	✓										C	✓	✓	✓	✓	82.23	
	82.32																	✓
83	82.32		橙	5YR 7/5	✓	C			CL	✓	82.32							
	83.08	✓										C	✓	✓	✓	✓	83.08	
	83.32																	✓
84	84.06		淡	5YR 7/5	✓	C			CM	✓	84.06							
	84.09	✓										C	✓	✓	✓	✓	84.09	
	84.77																	✓
85	84.77		橙	5YR 7/5	✓	C			CL	✓	84.77							
	84.94	✓										C	✓	✓	✓	✓	84.94	
85	84.94																	

80.13 ~ 80.29 25~55° の同方向の割れ目が連続する
80.29 ~ 80.51 割れ目の頻度はやや少なくなるが、割れ目沿いの劣化は明瞭

80.51 ~ 81.02 割れ目には珪石が埋まっているものがあるが、劣化は少ない

81.30 ~ 81.96 割れ目の珪石埋まりが著しく、劣化も硬質高角度の微細な割れ目が見られるが、完全に充填している

83.08 ~ 83.32 割れ目には珪石、褐色汚泥が明瞭に充填。割れ目沿いの劣化がコアの半分程度に及ぶ

84.09 ~ 84.77 割れ目が連続し、劣化も軟質となる。特に84.39 ~ 84.58 間には劣化が進行している

調査名

孔番・深度 H27B-4 (85 ~ 90) 観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

深尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
85	85.73			5YR 7/3	N	C				CL	85.73 ~ 85.91 高角度の2本の割れ目に見られる範囲で、 割れ目が連続し、片状となる。
86	85.77				C			6	9		
	86.44		GP	3C	N	B				CM	86.73 ~ 86.83 上下の割れ目(節理)に挟まれた区間の局 所的に砂 ~ 礫状となる
	86.73				D	E				D	
	86.83				C			23	13	26.83	86.90 ~ 88.03 割れ目面や割れ目沿いに、褐色や赤 色の汚染が明瞭であるが、挟在物はほとんど見 られない。岩質も硬い。
87	87.96										
	88.23				N			62	33		88.76 ~ 45°の割れ目の下盤割れ目化し、局所に比準に脆弱 土盤は約20cm マンサンの汚染がコアに明瞭
88	88.26					C				CL	
	88.63									88.64	89.27 ~ 89.46 微細な割れ目から連続する。コアも非分類
	88.83				C	B				CM	
89	89.20					C		24	13	89.28	
	89.27					B				CM	
	89.39			89.39		C				CL	
	89.46			10YR 8/4						89.50	
	89.50			浅黄							89.27 ~ 89.46 微細な割れ目から連続する。コアも非分類
90				橙		B		20	8	CM	

基盤岩コア観察カード

配厚・破砕性状・詳細スケッチ等

深さ (m)	深度 (m)	境界・産層位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
90												
	91.75											
91				10R% 浅黄橙		B				17	17	CM
	91.25											
	91.75											
	91.45											
	91.25											
92				GP 浅黄橙						0	6	CL
	92.55											
	92.55											
	92.91											
93										0	6	
	93.13											
	93.22											
94										14	14	
95	95.00									13	13	

90.75~91.90 微細な高角度の割れ目が連続する。高角度の割れ目は、60°以下の低角度の面に対して割れ目に切られることが多い。

91.45 48° 前断性の割れ目(節理)、幅6mm 2° 等分破砕され、鏡色味を帯びる。

92.55~92.91 高角度と低角度の割れ目が交差し、通身状となる。劣層もやや顕著である。

93.13~93.22 破砕帯
93.13 上盤 30° 粘土 12mm (注)
93.22 下盤 60° 粘土 7mm
上盤の下側 50mm 程度で粘土層が見られる。

94.30~94.40 前断性の節理の条、割れ目沿いに劣化LAC 弱となる。

調査名

孔番・深度

H27B4 (95 ~ 100)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
95													95.00 ~ 95.30 25~60°の平行した割れ目に沿って弱い変質作用を受けている。割れ目沿いはやや緑色味を帯びる。
96	96.42		GP	浅黄橙	10YR8/4	D				0	3	96.32 96.20 ~ 30°の層状性の割れ目(断理)。幅30~40cmで脆弱。取層と切り易い破砕を受けて一部緑色味を帯びる。	
97	97.10			浅黄橙	7.5YR8/6					6	6		
98	97.58		GP	浅黄橙	10YR8/4	C	V	E	3			97.10 ~ 97.58, 97.20 ~ 98.02 割れ目が著しく発達し。粗石と岩片が入り混じった状態のコアとなる。	
	97.81			浅黄橙									
	98.23			浅黄橙						0	3	98.02 ~ 98.22 短柱状~岩片状コア。割れ目に沿って水化が顕著。	
99	99.53		GP	浅黄橙								98.20 ~ 99.02 柱状~短柱のコアにて碎英と岩片が交差した微細な割れ目が非常に多く、曲れて。コア表面はザラつく。	
	99.97			浅黄橙						11	11	99.05 ~ 99.10 局所的に水化が進み碎英状になる。碎英が顕著。 99.12 付近 輝石が明確に見られる。 輝石	
100												99.97 m	

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化
100	100.00		GP	10YR 8/6							<p>100.28 ~ 100.50 50~55°の斜れ目中に砂状の破砕物と厚さ2~4mm挿す。褐色汚染明瞭</p> <p>102.45 25°の低角度斜れ目と同様に斜れ目が青色の炭屑物が見られる。この炭屑物は塩類と溶けやすいことからみられるのではなく、造岩石の可能性がある。</p>	
	100.70			C	V	B						
	100.94											
	101.07											
	101.24	101.24										
	101.40											
	101.43											
	101.80											
	102											
	102											
101	101.07			7.5YR 8/6							<p>主として</p> <p>101.31 ~ 101.43 低角度の斜れ目が集中。斜れ目沿いの劣化が明瞭。一部局所的に砂状となる。</p> <p>101.43 ~ 102.23 柱状~瓦柱状のコアが主体。劣化も軽微である。</p> <p>102.23 ~ 102.32 斜れ目がやや卓越。102.23, 102.25 は層断層の節理で、斜れ目沿いの劣化が明瞭。</p>	
	101.24											
	101.40											
	101.43											
	101.80											
	102											
	102											
	102											
	102											
	102											
102	102.27										<p>102.23 ~ 102.32 斜れ目がやや卓越。102.23, 102.25 は層断層の節理で、斜れ目沿いの劣化が明瞭。</p> <p>102.23 ~ 102.32 斜れ目がやや卓越。102.23, 102.25 は層断層の節理で、斜れ目沿いの劣化が明瞭。</p> <p>103.40 ~ 103.55 高角度主位の層断層の斜れ目が卓越。J3</p>	
	102.37											
	102.89											
	103											
	103											
	103											
	103											
	103											
	103											
	103											
103	103.40										<p>103.40 ~ 103.55 高角度主位の層断層の斜れ目が卓越。J3</p> <p>104.03 ~ 104.17 50~60°の層断層の斜れ目(節理)が卓越する。</p> <p>104.50 ~ 104.90 コアは砂状の褐色汚染が明瞭である。</p>	
	103.45											
	103.89											
	104											
	104											
	104											
	104											
	104											
	104											
	104											
104	104.03										<p>104.03 ~ 104.17 50~60°の層断層の斜れ目(節理)が卓越する。</p> <p>104.50 ~ 104.90 コアは砂状の褐色汚染が明瞭である。</p>	
	104.17											
	104.67											
	105											
	105											
	105											
	105											
	105											
	105											
	105											

調査名		孔番・深度		H27B4 (105~110)		観察日						
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
105	105.08			10YR7/3	IV							105.08 ~ 105.80 柱状コアが主体で劣化も認め 105.80 ~ 106.23 断片的に割れ目が集中する。割れ目 周囲の劣化も僅かに見られる 106.23 ~ 106.52 コアに放射状の褐色珪藻が見られ 106.52 ~ 106.76 30°の斜角に、汚濁された割れ目。その へり目が厚さ3mmで検出する 106.76 ~ 107.40 10YR7/3 割れ目主体。割れ目 周辺にマンガンと珪藻が見られるが検出 はほとんど見られない 107.40 ~ 108.44 50い 断面破壊を認む。コアは軟弱と なる。割れ目も若干不鮮明となる。 顕微鏡 108.44 ~ 108.71 褐色珪藻が明瞭 褐色の基質に破 砕部が点在する 108.71 ~ 109.79 割れ目が卓越し、割れ目周囲の劣 化が見られや脆弱である。109.79 ~ 109.99 2方向の割 れ目が明瞭な格子状となる。
	105.80											
	106.23											
106	106.23			10YR7/8	IV				44	18		
	106.52			黄橙	III		γ 3					
	106.76			10YR7/3	B				40	16		
107	107.40		GP	10YR7/3	N							
	108.44			2.5YR8/3	IV							
	108.71			黄橙	III							
108	108.71			黄橙	III							
	109.79			10YR7/3	IV							
	109.99			黄橙	III							
109	109.79			10YR7/3	IV							
	109.99			黄橙	III							
110	110.00			黄橙	III							

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化			
110	110.03 110.07 110.34 110.41 110.68 110.78	110.75		10YR 7/3 に ぶ い 黄 橙	割れ目状態: 2 コアの形状: 2 コアの種類: 2 風化: 2 変質: 2 R/D: 2				CL CM CL	110.03 ~ 110.78 微細な割れ目が集積する部分があるが、コアは硬く、割れ目も多岐にわたる。	
111	111.07 111.15 111.22			10YR 7/3 に ぶ い 黄 橙	割れ目状態: 2 コアの形状: 2 コアの種類: 2 風化: 2 変質: 2 R/D: 2				CL CM	111.00 付近 局所的に割れ目面が鮮やかな青緑色に変色している。	
112			GP	10YR 7/3 に ぶ い 黄 橙	割れ目状態: 2 コアの形状: 2 コアの種類: 2 風化: 2 変質: 2 R/D: 2				CL CM	112.04 ~ 113.02 高角度の割れ目が優勢である。コアの割れ目は見えないが、挿入物は無く、弱い対照球が認められる。	
113	113.41 113.54				割れ目状態: 2 コアの形状: 2 コアの種類: 2 風化: 2 変質: 2 R/D: 2				CL	113.41 ~ 113.44 割れ目がやや連続する。113.43 の割れ目では、互いに垂直に見える幅さ ~ 30mm 程度脆弱となる。	
114	114.59 114.75				割れ目状態: 2 コアの形状: 2 コアの種類: 2 風化: 2 変質: 2 R/D: 2				CL CM	114.59 ~ 114.66 割れ目が連続する。114.60 ~ 114.66 の内 40° 程度の平行した割れ目が発達。114.70 付近は硬く、片状となる。	
115					割れ目状態: 2 コアの形状: 2 コアの種類: 2 風化: 2 変質: 2 R/D: 2				CM		

調査番号

孔番・深度

H27B-4(115 ~ 120)

観察日

基盤岩コア観察カード

配事・破砕性状・詳細スケッチ等

深さ (m)	深層 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕層区分	備考・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化				
115	115.27											115.40 ~ 115.50, 115.46 付近の2条の潜在的に割れ目を中心に褐色汚染が顕著。黄鉄鉱の分解により赤い水酸化鉄を含む。
116	116.11 116.38 116.46 116.52			黄 橙	10YR 7/3 b	IV B	3	57 22				116.30 ~ 50°の割れ目面に厚さ5mmの褐色に汚染された石灰状の珪藻類が見られる。 116.42 ~ 119.32 粒状の珪藻類コアが認められる。 珪藻類の
117	117.02 117.44 117.52		GP	黄 橙	10YR 8/3 b	IV B		47 21				117.30 50°の割れ目面に沿って黄鉄鉱変質が見られ、褐色の帯状の珪藻類の周囲には輝沸石が含まれている。 (珪藻類の作用)
118	118.00 118.75			黄 橙	10YR 7/3 b	IV B		72 30				
119	119.32 119.65			黄 橙	10YR 8/3 b	IV B		86 24				119.65 ~ 119.85 割れ目面に珪藻類が認められる。割れ目面にはマンガン及び褐色の汚染が顕著で、一部の割れ目面には石灰質の珪藻類が見られる。
120								30 32				

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事				
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの傾き					風化	変質	RD	
120	120.10		10YR 3/3 に 3.0 い 黄 橙	C	C			CL	✓	~120.10 ₂ 割れ目に沿って変質が見られ幅2~4mm軟 灰となり					
	120.40							CM		120.40	120.3 ₂ 付近 65°の平行な割れ目が集中し砂~石状の 存在物が見られる。				
	120.52							III		* 69	✓	120.40 ₂ 58°の比較的シャープな割れ目。緑灰色の変質 脈と厚さ2mmの水酸化鉄を伴う。			
	120.89							IV				120.40 ₂ ~ 122.24 ₂ 粗大の柱~板状のコア。褐色汚染 が見られる割れ目が多い。			
	121	121.16								10YR 3/3 に 3.0 い 黄 橙	GP	II	B	✓	55
121.42		IV	3	✓	121.42	CM	121.28								
121.60		III						3	✓	121.60					CM
121.74		IV	3	✓	121.74	CM	121.28								
122	122.18							10YR 3/3 に 3.0 い 黄 橙	GP	II					B
122.46		IV	3	✓	122.46	CM	122.54								
122.54		III						3			✓	122.54	CM	122.54	
122.78		IV	3	✓	122.78	CM	122.54								
123	123.00							10YR 3/3 に 3.0 い 黄 橙			GP	C	B	✓	
123.26		IV	3	✓	123.26	CM	123.26								
123.34		III						3	✓	123.34					CM
124	124.09		10YR 3/3 に 3.0 い 黄 橙	GP	II	B	✓								
124.30		IV	3					✓	124.30	CM					124.30
124.39		III									3	✓	124.39	CM	
125	125.00		10YR 3/3 に 3.0 い 黄 橙					GP	II	B					✓
125.00		IV	3								✓	125.00	CM	125.00	
125.00		III		3	✓	125.00	CM								
125.00		IV	3								✓	125.00	CM	125.00	
125.00		III		3	✓	125.00	CM								

基盤岩コア観察カード

記号・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地層名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
125	125.20			10YR 7/3	II				CH		
	125.37			10YR 7/3	IV				CM		
	125.80			10YR 7/3	III				CH		
	126.34			10YR 7/3	IV	B	8	3	CM		
126	126.34			10YR 7/3	III				CH		
	126.69			10YR 7/3	IV				CM		
	127.00			10YR 7/3	C				CL		
	127.19		GP	10YR 7/3	V				CL		
127	127.19			10YR 7/3	C				CL		
	127.45			10YR 7/3	V				CL		
	127.60			10YR 7/3	C				CL		
	127.83			10YR 7/3	C				CL		
128	128.26			10YR 7/3	C				CL		
	128.37			10YR 7/3	V				CL		
	128.76			10YR 7/3	C				CL		
	128.90			10YR 7/3	IV	B	7.5		CM		
129	129.00			10YR 7/3	C				CL		
	129.18			10YR 7/3	V				CL		
	129.29			10YR 7/3	IV	C			CL		
	129.33			10YR 7/3	IV	C			CL		
129	129.52			10YR 7/3	V				CL		
	129.77			10YR 7/3	III	B			CM		
	129.94			10YR 7/3	IV	C			CL		
	130			10YR 7/3	IV	C			CL		

125.80付近 局所的に微細な割れ目が見られる

126.34 ~ 126.69 柱状コアであり肉眼では認識できず
T1の存在が認められる(↑を前面)に36.7の褐色斑が
結核はコア全体に広がる。

不規則な
127.00 ~ 127.03 微細な割れ目が見られる。
127.08 ~ 127.21 軟質でコア表面がサラツク。変質の影響
で割れ目に沿って緑色味を帯びる所がある

128.26 ~ 128.37 微細な割れ目が見られる。割れ目沿いに
褐色斑が見られる。

128.90 ~ 129.18 割れ目沿いに褐色が見られ、一部の割れ
目は不規則なものである。

128.26

129.33
10YR 7/3
明
橙
129.77
10YR 7/3
10YR 7/3
明
橙

調査名

孔番・深度

H27B-4 (130 ~ 135)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
130				10YR 7/3								
	130.42				C							130.02 ~ 130.42 高角度の割れ目が見られ、その割れ目沿いに劣化。一部砕状となる。
	130.75				C							
131												
	131.21				B							130.75 付近 交差する割れ目に挟まれた区間が局所的に劣化し、砕状となる。
	131.44				b							
	131.64				II							
	131.73				C							131.50 ~ 131.64 コアの軸角が劣化し砕状となる。
132					III							
	132.41				IV							
	132.42				B							132.14 ~ 132.80 堅硬な柱状コア。
	132.60				b							
	132.81				II							
	132.99				III							
133					IV							
	133.12				B							132.80 60°の割れ目にマカンを厚さ3mm程度挟みこす。
	133.49				C							133.26 割れ目角が鋭状となり、隙には褐色の粘土物が付着する。
	133.70				IV							
134												
	134.02				B							134.02 ~ 134.50 強い方向性汚泥がコア全体に分布。
	134.50				b							134.50 ~ 134.76 コアはやや青味を呈する。同色の割れ目はないが、珪化(原岩)以上に硬い。
	134.73				IV							少量 130.75 付近、黄鉄鉱が分解過程の白鉄鉱が見られ、その周辺には褐色汚泥がせまい範囲に分布。
135												

調査名

孔番・深度 427B-4(135~140)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化				変質
135	135.07				IV						135.28 ~ 135.60 この間の傾度割れ目は2~3度の傾度で2~4m程度の距離で平行に接している。赤褐色の石見	
	135.28				B	II			CM			
	135.60				C				CA			
136	136.00				b				30	22	136.01	136.00 ~ 136.20 高角度の割れ目が見られ、傾度傾りれ目と交し、割れ目がやや卓越する。割れ目には2mm程度の球状の挟持物が見られるものがある。 136.34mの38°の割れ目に沿って幅緑色の粘土質の劣化層(緑泥石の作用)が見られ、その中に小さな粗沸石が散在している。 136.41m 局所的(5~15mm幅)に割れ目が卓越し、マンガンが認められる。 137.02 ~ 138.09 堅硬な粒状コア
	136.30	GP			c						136.30	
	136.50				B						136.50	
	136.84				N						136.84	
137	137.02								0	9	137.02	138.01 ~ 138.16 微細でほぼ平行した割れ目が非常に卓越。 138.29m 中10mm程度の平行した割れ目が非常に卓越する
	137.43				II	B					137.43	
	137.59				b	III					137.59	
	138.01								54	24	138.01	
	138.16										138.16	
138	138.01										138.01	139.00 ~ 139.12 70°の傾度で卓越性の割れ目、10mm程度の球状の挟持物が見られ、上盤側には平行な割れ目が3条見られる
	138.47				C						138.47	
	138.72				N						138.72	
	138.97				b	II					138.97	
	139.00								28	14	139.00	
139	139.31										139.31	139.00 ~ 140.00 傾度 140.00m
	139.47				IV						139.47	
	139.72										139.72	
	140.00										140.00	

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27B-4(140~144)										
標尺	深度	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記号・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
140	140.00			10YR 7/5 黄橙								140.00~140.30 40~50°の傾斜を有する割れ目が 存在する
	140.30											140.00~140.30 40~50°の傾斜を有する割れ目が 存在する
	140.43			10YR 7/5 黄橙								140.00~140.43 割れ目に沿って等分角化が見られ細 砂状と砂礫が多い。
141	141.00			10YR 7/5 黄橙								141.00~141.43 低角度を主体とした割れ目が一部 一部を甲状と砂礫
	141.43											141.00~141.43 低角度を主体とした割れ目が一部 一部を甲状と砂礫
	141.59											
	141.68											
142	142.00			10YR 7/5 黄橙								141.68~142.50 高角度をほぼ垂直の割れ目と40~ 50°の割れ目が5~10cm間隔で交叉する
	142.59											142.1~142.35に於ける割れ目の一部には厚さ2~15 mmの砂礫の存在物が見られる
	142.84											142.50m 50°の割れ目は厚さ10mmの細砂と砂礫が 存在する
143	143.00			10YR 7/5 黄橙								143.49~143.65 割れ目が卓越し割れ目に沿って角化 し砂礫細砂状と砂礫
	143.49											143.49~143.65 割れ目が卓越し割れ目に沿って角化 し砂礫細砂状と砂礫
	143.65											143.65m~ 堅硬な柱状コア
144	144.00											

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
[Redacted]		D5-1		[Redacted]			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				火山灰物 炭質土 化石 木片			
0	0.25			○ r	表土	0.25	0.00-0.25m 表土、根付根合土
0.5	0.25			○ r	盛土	0.25	0.25-1.02m 砂礫土 0.25-0.92m 径2-4mmの炭化物片合土 0.25-0.93m 径2-4mmの石英礫を全体に含土 径6-8mmの花崗斑岩の断片(7個)を 含土 0.92-0.93m 植物根侵入 0.93-1.02m 径2-4mmの炭化物片合土 (0.25-0.92mの植物根付)
1	1.02			○ r	砂礫土	1.03	1.02-1.11m 砂礫土、径6mmの花崗斑岩の断片を 含土 1.11-1.30m シルト質砂 ヤマト砂主体、角礫の 付
1.5	1.30			○ r	砂礫土	1.30	1.30-1.41m 砂質シルト 径1-2mmの炭化物片 を上部、下部の硬質は不明
2	1.41			○ r	砂礫土	1.41	1.41-2.40m 砂礫土 径2-10mmの硬質 径10-14mmの花崗斑岩の 付合土、基礎のP-植物砂 砂礫土の断片の径0.5mm 群率 20-25%
2.5	1.59			○ r	砂礫土	1.59	1.59-1.78m 径4-6mmの炭化物片合土 1.69-1.78m 砂合砂(シルト質)
3	2.06			○ r	砂礫土	2.06	2.06m 径15mmの炭化物片合土 2.28m 径1-5mmの炭化物片合土
3.5	2.40			○ r	砂礫土	2.40	2.40-2.60m シルト質砂 ヤマト砂、断片の付
4	2.60			○ r	砂礫土	2.60	2.60-2.89m 砂礫土 径2-5mmの石英砂 径14.80mmの 花崗斑岩の断片を合土、群率40% 基礎のヤマト砂 径2-4mmの炭化物片合土 下位の基礎の花崗斑岩とは240°付する 花崗斑岩の上層は 炭化酸鉄片集
4	2.89			○ r	砂礫土	2.89	
4	3.00			○ r	花崗斑岩		

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名		孔番・深度		観察日								
		D5-1 (0.00 ~ 5.00)										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0												
1												
2												
3	2.29											本回系270m系0-1m系 (備考) ・径2-5mmの石英、長石の斑晶と不透明鉱物 斑晶の含有率は5-7% ・370-390m 割れ目径127μm以内(1mm割れ目)の石英斑晶
4	3.80 4.00		硬塊岩 GP	5/8 b	IV	8	2					・370-400m 270m系軟質、指で粒子取れる ・410-415m 割れ目径2-4mmの石英斑晶
5	4.65											・420-5.60m 270m系軟質、指で粒子取れる

調査名

孔番・深度

D5-1 (5.00 ~ 10.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
5	5.05				b	TV	r	2				・5.05-5.12m 褐色泥状砂. ・5.08-5.25m 割れ目沿いにマ:ピ:泥集(片状)顯著 2Fは解凍 薄片に多量.	
	5.50				c	V	D	3					・5.40-5.50m 割れ目沿いにマ:ピ:泥集顯著.
6	6.50			5f ₂ 7.1b	b	TV	c	2				・5.20-5.25m 割れ目沿い7mm以下(1mm-程度)のマ:ピ:泥集顯著 同層の割れ目(45°-55°)を2本透 ・5.2-5.5mmの長さの割れ目割合は5.7%.	
	7.00												・6.45-6.55m 割れ目沿いに2mm以下の酸化鉄を認め得る(1.4%) ・6.50-7.78m ピ:長多量.
7	7.80			5f ₂ 7.1b	b	TV	c	2				・7.25-7.80m 高品位 (<20μm) の割れ目12mm以下7mm以下 (1mm-程度)に認め得る.	
	8.00		GP										・7.20-8.32m 珪酸少C 含有率は1%以下. 構成鉱物は粗粒.
8	8.70											・7.94m 割れ目の概ね均10mm(6mm以下)以下に付着(粗粒)	
	9.20												・9.78m 割れ目の概ね均10mm(4mm以下)以下に付着(粗粒)
9	9.34		GP	5f ₂ 7.1b	b	TV	c	2				・9.78m 割れ目の概ね均10mm(4mm以下)以下に付着(粗粒)	
	9.50												

調査名

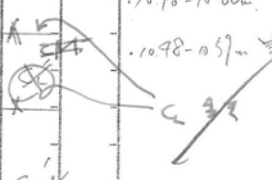
孔番・深度

D5-1 (10.00~15.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
10	10.10				IV							<p>10.13m 割れ目(1)の粗粒(1-2mm)がMn正稜形です 割れ目(2)の2760μm 穴の隙間を埋める</p> <p>10.90-10.60m 折れ目の12mmの粗粒の粗粒コアの粗粒の粗粒 コアの粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p> <p>10.98-0.57m 割れ目(1)の粗粒(1-2mm)がMn正稜形です</p> 	
	10.21				IV								
	10.40				IV								
	10.60				IV								
	11					IV							
11	11.55		GP	5Y 7.5/3	b	IV	C	δ	2		CM	<p>11.20-11.10m 折れ目の粗粒</p> <p>11.70-11.95m 割れ目の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p>	
	11.67				IV								
	12								14	14			
12	12.35											<p>12.35-12.70m 2760μmの粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p> <p>12.66m 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 変質の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p>	
	12.70			5Y 7.5/3 濃黄	b	IV	D	δ	2		CL		
	13								0	0			
13	13.00											<p>12.00-15.10m Cの粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p> <p>12.05-13.10m 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p>	
	13.60			5Y 7.5/3	b	IV	C	δ	2		CM		
	13.80					III							
14	14.20					IV						<p>14.30-14.65m 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p> <p>14.90-14.95m 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p>	
	14.40					III							
	14.45					IV							
	14.60			5Y 7.5/3 濃黄	b	IV	D	δ	2		CL		
	15					IV							
15	15.00			5Y 7.5/3	b	IV	C	δ	2		CM	<p>14.70-14.95m 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒 粗粒の粗粒(2mm)の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒の粗粒</p>	
	15.00								12	12			

19.55 ~ 20.00 Y.2
 風化・変質。記載なし

孔番・深度 D5-1 (15.00 ~ 20.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

深尺 (m)	深度 (m)	亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
15	-15.22											・15.00-16.00 エンセキ多量を含む (エンセキ) ・15.27-15.29m 割れ目: Mn (2mm以下) + 鉄屑 割れ目内には磁鉄屑が混入している この割合はコア表面から (15.100m 付近) ・15.78m 割れ目 (2.5%)、1.1mm 磁屑 (最大 10mm) を含む 割れ目内には磁鉄屑が混入している。この割合はコア表面から (15.150m 付近)
	-15.32											
	-15.70											
	-15.80											
16	-16.05											・径 2-4mm の石炭屑の混入。割れ目の割合は 5% ・エンセキ多量を含む ・16.05-16.24m エンセキ多量を含む。割れ目内には磁鉄屑が混入している ・16.75-17.20m 割れ目: 2.5% 磁屑 (1mm) の混入。また割れ目内には ・16.95m 2.5% 磁屑を含む (2mm) 割れ目内には鉄屑 磁鉄屑が混入している ・17.90-18.00m エンセキ多量を含む。下方は磁鉄屑が混入している
	-16.20											
17	-17.70											・17.97-17.99m エンセキ多量を含む (1-2mm) 割れ目内には磁鉄屑 磁鉄屑が混入している。割れ目内には鉄屑 磁鉄屑が混入している ・17.90-18.00 エンセキ多量を含む。下方は磁鉄屑
	-17.74											
	-18.00											
	-18.00											
18	-18.00											・2.7% エンセキ多量を含む ・18.16-18.25m 割れ目: 2.7% 磁屑 (1mm) の混入。また割れ目内には 磁屑が混入している
	-18.00											
	-18.00											
19	-19.15											・2.7% エンセキ多量を含む ・19.15-19.55m 風化程度が上層・下層のほど大きく エンセキ多量を含む ・19.33-19.46m 磁屑混入。割れ目あり ・19.77m, 19.95m 変質 (7.7% エンセキ多量) を含む 割れ目内には Mn 磁屑が混入している
	-19.55											
	-19.55											
20	-20.00											

22.9.7 ~ 23.2.23 R.483
 風化・変質の記載なし

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

深さ (m)	深さ (m)	割位置	質名	目調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
20	20.05				IV	C				CH		・21.0 硬質 風化程度 5.0% 程度弱 ・20.0-21.00m 高圧(200V)の割れ目 横断物を有する(1.5m 開口)になる。 21.0 風化+高圧に寄る割れ目 開口して 5.0% 程度弱(1.5m 開口)の ROD は 細くなる。	
	20.20				IV	C				CH			
	20.80				IV	B	t	2			CH		
21	21.00				IV	B	t	2			CH	・20.80-22.35m 硬質あり ・21.0-21.60m 高圧(200V)の割れ目 開口して 5.0% 程度弱 ・高圧割れ目の結果部 1.0% 割れ目 1.0% 程度弱になる。	
	21.57				IV	B	t	2			CH		
	21.65				IV	B	t	2			CH		
22	21.99				IV	B	t	2			CH		
	22.57				IV	B	t	2			CH		
	22.65				IV	B	t	2			CH		
23	22.91				IV	B	t	2			CH	・22.91-23.23m 高圧部 主として 22.91m ・22.91-22.92m Hc-1 上部は 22.91m 断面より 下部の一部 割れ目 縦断 3.9% 程度弱 厚 2.10mm の 軟弱部 風化 程度 弱 程度 弱(5% 程度弱) 上部は 22.91m 断面より 下部の一部 割れ目 縦断 2.10mm の 軟弱部 風化 程度 弱 程度 弱(5% 程度弱) 色相は 淡黄(5% 程度弱)。	
	22.92				IV	B	t	2			CH		
	22.93				IV	B	t	2			CH		
24	22.91				IV	B	t	2			CH	・23.23-23.23m H3 上部 24. 下部 23.23m 断面より 2.10mm 軟弱部 (割れ目) と 高圧部 割れ目 5.0% 程度弱(5% 程度弱) 厚 3.10mm (2% 程度弱) 下部は 23.23m 断面より 2.10mm 軟弱部 (割れ目) の 軟弱部 風化 程度 弱 程度 弱(5% 程度弱) 上部は 23.23m 断面より 2.10mm 軟弱部 (割れ目) と 高圧部 割れ目 5.0% 程度弱(5% 程度弱) 厚 3.10mm (2% 程度弱) 色相は 淡黄(5% 程度弱)。	
	22.92				IV	B	t	2			CH		
	22.93				IV	B	t	2			CH		
25	23.20				IV	B	t	2			CH	・23.20-23.20m 高圧部 割れ目 縦断 3.9% 程度弱 ・24.20-24.30m 2.60 程度弱の 割れ目 縦断 1.0% 程度弱	
	24.20				IV	B	t	2			CH		
	24.65				IV	B	t	2			CH		

調査名		孔番・深度		D5-1 (25.00 ~ 30.00)		観察日							
25.17 ~ 25.44. r3 25.65 ~ 25.77. r3 風化・変質の記載		細区分				基盤岩コア観察カード							
(m)	(m)	位置	層名	割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化	変質	ROD	最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
25	25.17 25.18			100%	b IV	b IV	+	2			CN	Hc-2	<ul style="list-style-type: none"> 25.17-25.44m: 凝結帯 主として25.17m 25.17-25.18m: Hc-2 上部は40°の通孔。下部は25.42°の泥付の連続層2.5-1.5mmの板状の粒徑1-2mmの石英粒と径2-3mmのGpの結核が10%程度含まれる。色相は灰白(5%) ~ 淡黄(2.5%程度)。 25.18-25.44m: Hj 上部は40°の泥付と25.42°の泥付の連続層主として25.42°の泥付が60-90%程度と泥付の割合が20%程度に5.10mmの細粒化。上部の一部は泥付の塊状で径1mm程度の塊状の泥付(10%)が全粒に散在している。下部は25.42°の泥付と25.44°の泥付の連続層(25.44%)
	25.49			7.5R/3 (2.3%程度)	d VI	d VI	+	3			DD	Hj	
	25.65			5TP/4 7%程度	b V	b V	+	2			CN	Hc-1	<ul style="list-style-type: none"> 25.65-25.77m: 砂状部 主として25.76m 25.65-25.74m: Hj 上部は30-60°の泥付と泥付の連続層。下部は20°の泥付の連続層。径1.0mmの結核と石英の塊状の泥付と径2mmの板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は明褐色(15%程度)。 25.74-25.76m: Hb 上部は20°の泥付と下部は40°の泥付の連続層。径1.0mmのGpが約30%含まれる。上部は泥付の塊状(20mm)。色相は明褐色(15%程度)。 25.76-25.77m: Hc-1 上部は40°の泥付の下部は25°の泥付の連続層。泥付の割合は10%程度と径1mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。
26	26.12				d IV	d IV	+	3			DD	Hj	
	26.50				c V	c V	+	2			CN		
	26.65				b IV	b IV	+	2			CN		
27	27.07				x	x	x	x	SS	SS	CHV		<ul style="list-style-type: none"> 25.77-26.12- 泥付の塊状の泥付 26.45-26.75- 20°の泥付と10°の泥付の連続層。径1.0mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。 27.00-30.00m 2°の泥付。27.00mの泥付の割合は5%程度。径1.0mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。 27.31m (25.9°) 2) 41m (25.2°) は泥付の割合が約5%程度と径1mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。 27.51-27.60m 40°前後の泥付の割合が約5%程度と径1mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。
	27.18			5TP/4 7%程度	b IV	b IV	+	2			CN		
28	28.00				III	III					CH		
	28.63				b IV	b IV	+	2			CN		<ul style="list-style-type: none"> 28.20-28.55m 開口部から泥付の割合が約10%程度と径1mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。 28.60-27.00m 泥付の割合が約5%程度と径1mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。
	28.99				III	III					CH		
29	29.00				IV	IV					CN		
	29.10				III	III					CH		
	29.23				IV	IV					CN		<ul style="list-style-type: none"> 29.00-29.95m 17°前後の泥付の割合が約5%程度と径1mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。
	29.62			5TP/4 7%程度	b IV	b IV	+	2			CN		
	29.80				III	III					CH		
30					IV	IV					CN		<ul style="list-style-type: none"> 29.80-30.00m 40°前後の泥付の割合が約5%程度と径1mm程度の結核と径2mm程度の板状の泥付と径1mm程度の結核とが含まれる。色相は淡黄褐色(10%程度)。

調査名

孔番・深度

D5-1 (30.00 ~ 35.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

深尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地層	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの構造	風化					
40	30.00		GP	7.52 7.61	b	B	r	2	25	13	CH	30.00-30.00 270°硬質 径3-5mmの石英を認め、黒雲母の剥離は5%程度 あり。	
	30.53	CH									30.09-30.50m 割れ目(径4-6mm)の酸化鉄汚染 およびMn汚染あり。		
	30.88	CH									30.40-30.60m 270°Mn汚染の認められ、同程度の酸化鉄 汚染も認められ。		
	31.01	CH									30.72m 割れ目(径4mm)に沿って酸化鉄(褐色)の付着(2mm程度)を 認め。		
	31.63	CH									31.04-31.15m 割れ目を伴った270°Mn汚染の認められ。		
	31.94	CH									31.30-31.40m 50°前後の割れ目と70°前後の割れ目から成る 同心状の割れ目が2-5mm間隔で発達 し、その部分の270°硬質		
	32.68	CH									32.20-32.40m 不規則にAP-70°の発達		
	33.00	CH									32.39-32.53 32.92-32.99m 割れ目に石英片が径10μm 程度まで認められ、幅1-2mm。		
	33.09	CH									32.95m 付近 同心状の割れ目が4-6mm間隔で発達 し、その部分の270°硬質		
	41	33.25										GP	10.7 7.61
33.80		CH	33.85m 62°の割れ目に沿って1-2mm、砂粒の付着 割れ目同程度の酸化鉄汚染あり。										
34.01		CH	34.08-34.20m 45-45°の同系統の割れ目から成る 割れ目同程度の酸化鉄汚染あり、Mn汚染あり										
34.21		CH	34.90-34.92m 割れ目を伴った270°硬質の認められ。										
45	34.96												

調査名		孔番・深度		観察日								
35.41 ~ 35.65 3.4		D5-1 (35.00 ~ 40.00)										
(国) 変質記載												
ハ	深	位置	地質	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
35	35.41 35.42 35.49 35.55		75% 変質 75% 変質 75% 変質 1:5 変質	灰	C C C C	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	<p>35.41-35.55m: 20% 変質, 主として 35.49m</p> <p>35.41-35.49m: H₁</p> <p>上部 40% 下部 30% 変質の連続, 粘土質の割れ目がある。粘土は厚さ 0.5mm 程度。下部には主として 35.49m の 60-90° の斜交の割れ目がある。上部には 30-40° の斜交の割れ目がある。厚さ 0.5-1.0mm 程度の割れ目がある (75% 変質)。</p> <p>35.49-35.55m: H₂</p> <p>上部 30% 下部 20% 変質の連続, 厚さ 2-5mm の粘土質の層。5-10mm Gp 層が 10% 含まれる。厚さ 1-2mm 程度の割れ目がある (75% 変質)。</p> <p>35.55-35.65m: H₃</p> <p>上部 30% 下部 40% 変質の連続, 粘土質の割れ目がある。主として 1:4 の斜交の割れ目がある。厚さ 0.5-1.0mm 程度の割れ目がある。厚さ 30-50mm 程度の割れ目がある (75% 変質)。</p>	
36	36.05 36.4				C C C C	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	<p>36.00-36.05m 粘土質の層。粘土質の層が 7-10% 含まれる。</p> <p>36.05-36.15m 20% 変質の連続。</p> <p>36.15-36.40m 50% 変質の連続 (1-5mm) の層。</p> <p>36.40-36.45m 粘土質の層 (20%) の層。</p> <p>36.45-36.50m 粘土質の層 (20%) の層。</p>	
37	37.02 37.42 37.57		Gp		C C C C	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	<p>37.02m 割れ目 (40°) の 50% 変質の層 (40%) の層。</p> <p>37.42m 粘土質の層 (20%) の層。</p> <p>37.57m 粘土質の層 (20%) の層。</p>	
38	38.05 38.59				C C C C	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	<p>38.05m 粘土質の層 (20%) の層。</p> <p>38.59m 粘土質の層 (20%) の層。</p>	
39	39.1 39.32 39.79				C C C C	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	<p>39.1-39.32m 粘土質の層 (20%) の層。</p> <p>39.32-39.79m 粘土質の層 (20%) の層。</p>	
40	40.00				C C C C	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	<p>40.00m 粘土質の層 (20%) の層。</p>	

調査名

孔番・深度

D5-1 (400 ~ 45.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地層名	色調	細区分				割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質	ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化										
40	40.05		GP	10YR 8/1 灰白	b	IV	B	γ	2	52	14	CH	CH	CH	CH	CH	CH	40.00 - 粒径-10mmの石英片の埋り込み(砂岩)の珪結石 7-10%含石
	40.50	CH																40.34m 割れ目(236)に10%の珪結石(1mm)を伴う
																		40.37m 割れ目(236)に7.5%の珪結石(0.1mm)を伴う
	41	41.53																GP
41.95		CH	41.27m 割れ目(292)に10%の珪結石(1-3mm)を伴う															
41.60			41.31m 割れ目(236)に10%の珪結石(1mm)を伴う															
42		42.16	GP	10YR 8/1 灰白	b	IV	B	γ	2	52	14	CH	CH	CH	CH	CH	CH	
	42.89	CH																42.19m 割れ目(246)にMullite(2-3mm)の上層部(30mm)と 下部(40mm)の2層に同量の珪結石を伴う
																		42.72m 割れ目(296)にMullite(0.1mm)の上層部(15-30mm)と 下部(25mm)の2層に同量の珪結石を伴う
	43	43.50																GP
43.80		CH	43.50m 粒径-5mmの石英片の珪結石を含石 珪結石の含有率は3/10%と推定															
			44.28-44.53m 割れ目(236)に2層の珪結石を伴う															
44		44.92	GP	5Y 10/1 灰白	b	IV	B	γ	2	52	14	CH	CH	CH	CH	CH	CH	
	45.00	CH																44.49m 割れ目(246)にMullite(0.1mm)が伴う
																		44.70-44.80m 割れ目(236)に2層の珪結石を伴う
																		44.69m 割れ目(266)にMullite(0.1mm)が伴う
																		44.78m 割れ目(270)にMullite(0.1mm)が伴う

調査名

孔番・深度

D5-1 (45 ~ 48)

観測日

45.12 ~ 45.37

風化・変質の記載

細区分

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

ハ	深 (m)	要位置	質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	備考	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					RQD
45	45.12		75% 7.5% 10% 20% 20% 10%	灰白	✓	✓	✓	r	3	✓	CH	CL	<ul style="list-style-type: none"> 45.12-45.37: 粗砂 土山断面 45.12m 14 45.12-45.13m: Hc-1 上部は35% 下部は35% 泥付の連続 径1-2mmの石英と径3-5mmのGpが25% 粘土 粘土10mm 色調は灰白(75%) 45.13-45.27m: H6 上部35% 下部40% とやや泥付の連続 粘土化して径5-10mmのGpと径2-3mmの石英と20-30% 粘土 固結した粘土と粘土 粘土120mm 色調は上部80% 粘土(10%) 下部10% 粘土(25%) 45.27-45.37m: H7 上部40% 下部40% とやや泥付の連続 径2-5mmの石英と径10mm前後の石英と径1-1.5mm前後の割れ目は一部粘土化 土山断面と平均径30-40% 割れ目径が少く 一部20% 粘土化して 粘土120mm 色調は浅黄褐色(10%) 粘土(10%) 粘土(10%) 粘土(10%) 	
	45.13				✓	✓	✓	r	3	✓	CH	CL		
	45.27					✓	✓	✓	r	3	✓	CH		CL
	45.37					✓	✓	✓	r	3	✓	CH		CL
46	45.89				✓	✓	✓	r	3	✓	CH	CL	<ul style="list-style-type: none"> 46.27-46.32m 連続した粘土と粘土の割れ目径が少く 46.32m-46.52m 粘土と粘土の割れ目径が少く 粘土と粘土の割れ目径が少く 46.52m-46.61m 粘土と粘土の割れ目径が少く 粘土と粘土の割れ目径が少く 	
	46.51				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		
	46.77				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		
47	47.01				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL	<ul style="list-style-type: none"> 47.10-47.75m 割れ目径が少く 粘土と粘土の割れ目径が少く 粘土と粘土の割れ目径が少く 	
	47.40				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		
	47.58				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		
	47.71				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		
	47.80				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		
48	78.00				✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL	<ul style="list-style-type: none"> 47.92m 割れ目径が少く 粘土と粘土の割れ目径が少く 粘土と粘土の割れ目径が少く 	
					✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		
49					✓	✓	✓	r	2	✓	CH	CL		

余白